

令和3年度 神戸 2025 ビジョン推進会議

日 時：令和4年1月24日（月）10:00～

場 所：神戸市役所 14階大会議室

議 事 次 第

（配付資料）

1 開会

資料1 神戸 2025 ビジョン推進会議開催要綱

資料2 推進会議委員名簿

2 議事

（1）神戸 2025 ビジョンの考え方と令和3年度の
主な取組

資料3 神戸 2025 ビジョンの考え方と令和3年度の
主な取組

（2）人口減少対策について

資料4 ご意見交換：人口減少への対策について

3 閉会

神戸 2025 ビジョン推進会議開催要綱

令和 3 年 11 月 4 日

企画調整局長決定

(趣旨)

第 1 条 神戸 2025 ビジョンを推進するにあたり、専門的な見地から幅広く意見を求め、計画の進行管理の検証や改善などを検討するため、神戸 2025 ビジョン推進会議（以下「有識者会議」という。）を開催する。

(委員)

第 2 条 有識者会議に参加する委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
 - (2) 専門的知識や経験を有する者
 - (3) 前号に掲げる者のほか、市長が特に必要があると認める者
- 2 前項の規定により委嘱する委員の人数は、15 名以内とする。
- 3 その他、市長は、特定の事項について専門的知識を有する者を臨時委員として参加させることができる。

(任期)

第 3 条 委員の任期は、委嘱の日から令和 7 年 3 月 31 日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長の指名等)

第 4 条 企画調整局長は、委員の中から会長を指名する。

- 2 会長は、会の進行をつかさどる。
- 3 企画調整局長は、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、前項の職務を代行する者を指名する。

(有識者会議の公開)

第 5 条 有識者会議は、これを公開とする。ただし、次のいずれかに該当する場合で、企画調整局長が公開しないと決めたときは、この限りでない。

- (1) 神戸市情報公開条例（平成 13 年神戸市条例第 29 号）第 10 条各号に該当すると認められる情報について意見交換を行う場合
 - (2) 有識者会議を公開することにより公正かつ円滑な有識者会議の進行が著しく損なわれると認められる場合
- 2 有識者会議の傍聴については、神戸市有識者会議傍聴要綱（平成 25 年 3 月 27 日市長決定）を適用する。

(施行細目の委任)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、有識者会議の開催に必要な事項は、政策調査課長が定める。

附 則（令和 3 年 11 月 4 日決裁）

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和 3 年 11 月 4 日より施行する。

(要綱の失効)

- 2 この要綱は、令和 7 年 3 月 31 日限り、その効力を失う。

神戸2025ビジョン推進会議 委員名簿

会 長（敬称略）

神戸大学 大学院法学研究科 教授

しなだ ゆたか
品田 裕

委 員（五十音順、敬称略）

甲南大学 経済学部経済学科 教授

いしかわ のりこ
石川 路子

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 理事

いながき けんいち
稲垣 賢一

滋慶医療科学大学 大学院医療管理学研究科 准教授

おの セレスタ まや
小野 摩耶

ネスレ日本株式会社 執行役員

かのう みき
嘉納 未来

コーポレートアフェアーズ統括部長

lavieestbelle 株式会社

かやま なお
佳山 奈央

「おやこの世界をひろげるサードプレイス PORTO」代表

西日本旅客鉄道株式会社 理事

くにひろ しょうじ
國弘 正治

(近畿統括本部副本部長・神戸支社長)

株式会社三井住友銀行 公務法人営業第二部 部長代理

たなか よしえ
田中 慈恵

連合神戸地域協議会 議長

はせがわ たかゆき
長谷川 孝之

公益財団法人 神戸市民文化振興財団 理事長

はっとり こうじ
服部 孝司

兵庫県中小企業家同友会 代表理事

ふじおか よしみ
藤岡 義己

(資料3)

神戸2025ビジョンの考え方と 令和3年度の主な取組み

1. 主要課題

新型コロナウイルス感染症への対応

人口減少・東京圏一極集中・少子超高齢化

- 労働力の不足
- 過疎地域と人口集中地域の混在
- 支援が必要な人への対応
- 社会インフラ(道路、交通網、水道管など)の維持
- 地域コミュニティの維持

持続的な社会の構築

- 自然環境の保全
- 多文化共生社会の実現 など

2. 神戸2025ビジョン全体像

テーマ:神戸が目指す将来像

「海と山が育むグローバル貢献都市」

(テーマの考え方)

海や山、里山・農村などの豊かな自然環境、国際性や多様性、芸術文化といった神戸の強みを磨き、活かすとともに、医療や環境などの分野で、世界に貢献し、市民一人ひとりが安心安全で心豊かに幸せを実感できる持続可能なまちを目指す。



3. 各基本目標の考えと令和3年度の主な取組み

基本目標1: 魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長

○策定時の主な社会経済情勢の変化

- ✓ 感染症による経済成長の落ち込み
- ✓ 消費税10%へ引き上げ、軽減税率の導入(2019年)
- ✓ マイナス金利の導入(2016年)
- ✓ テクノロジーの進展
- ✓ グローバル化の進展

○主な課題と基本的な方向性

- ✓ **大学卒業後の25～34歳の世代の転出超過**
⇒ 起業環境の充実、若者に魅力的な仕事の創出
⇒ 都市型創造産業の集積
⇒ 仕事と子育て・家事を両立できる環境づくり

- ✓ **社会課題やニーズへのテクノロジーの適応**

- ⇒ 「テクノロジー進化の実験都市」の推進
- ⇒ 分野横断でのデータ連携基盤の構築
- ⇒ 中小企業のデジタル化やリモートワーク等推進

- ✓ **神戸経済の成長**

- ⇒ withコロナ、ポストコロナを見据えた市内企業等の支援
- ⇒ 副業人材の活用支援等による市内企業の魅力や競争力向上
- ⇒ 都市型創造産業の集積
- ⇒ 「六甲山上スマートシティ構想」や「里山・農村活性化ビジョン」の推進

Society 5.0時代の到来



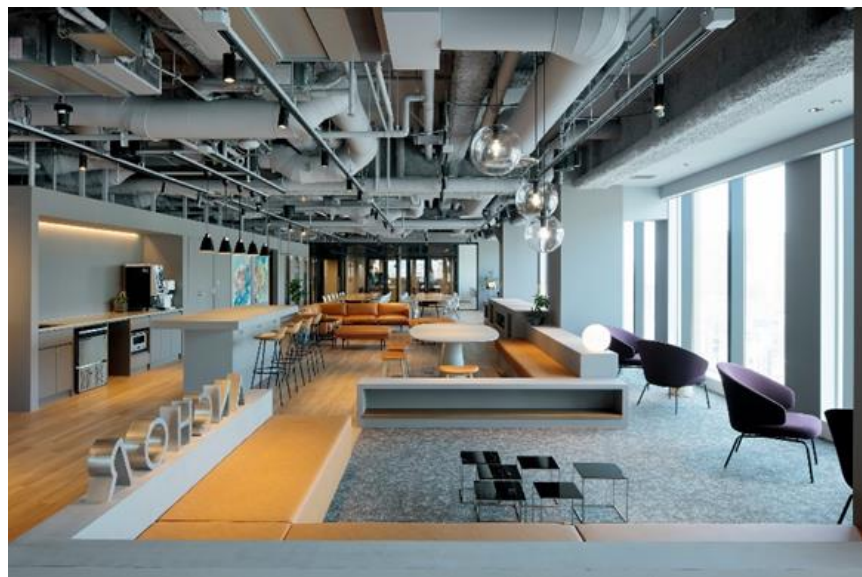
出展: 内閣府HP

基本目標1: 魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長

○令和3年度の主な取組

- ✓ ビジネススクエア「ANCHOR KOBE」(アンカー神戸)の開設と産官学連携を基盤としたプログラムの提供
- ✓ 六甲山上の泊まれるシェアオフィス「ROKKONOMAD」を拠点としたワーケーションプログラム実施など六甲山上スマートシティ構想の推進(光回線や水道料金の引下げ等環境整備)
- ✓ 働く女性・働きたい女性が集まるコワーキングスペース「あすてっぴコワーキング」の開設と様々なセミナー等の開催

【ANCHOR KOBE(アンカー神戸)】



【ROKKONOMAD(ロコノマド)】



基本目標2:妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実

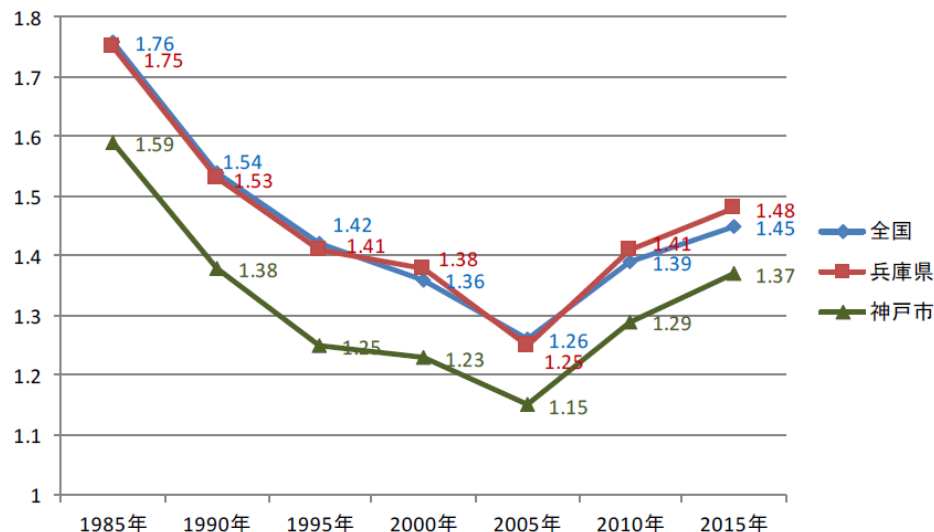
○策定時の主な社会経済情勢の変化

- ✓ 全国的な合計特殊出生率の低下
- ✓ 未婚化・晩婚化の進展
- ✓ 幼児教育・高等教育の無償化
(幼児教育2019年、高等教育2020年)
- ✓ 子どもの貧困の深刻化
- ✓ 感染症による教育環境の格差

○主な課題と基本的な方向性

- ✓ **安心して出産・子育てできる環境整備**
⇒ 出産・子育て・教育の切れ目のない支援
⇒ 仕事と家庭の両立に向けた保育施設等の整備、
学童保育の充実などの推進
⇒ 市内外の人々への情報発信
- ✓ **確かな学力を育む教育の推進**
⇒ 神戸の特徴を活かした特色ある教育の推進
⇒ 文化センターの活用など、学びの環境整備
⇒ 教職員の働き方改革の推進

合計特殊出生率の推移



(注)合計特殊出生率は、出産可能年齢(15~49歳)の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯に何人の子どもを産むのかを推計した指標

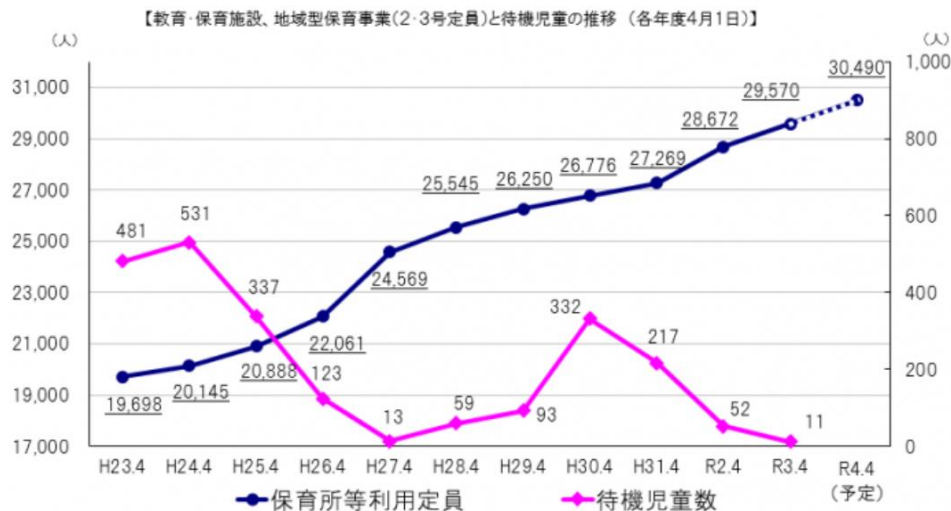
(資料)厚生労働省「人口動態統計」

基本目標2:妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実

○令和3年度の主な取組

- ✓ 約900人の保育定員拡大に向けた、保育施設の整備、保育人材の確保、利用者支援の充実（令和3年4月1日時点で待機児童数は過去最少の11名）
- ✓ こども医療費助成制度の対象を拡大（15歳以下⇒18歳以下（高校生まで））し、高校生の入院医療費無料化を実現
- ✓ こべっこあそびひろばの増設など、地域における子育て支援の推進
- ✓ GIGAスクール構想の推進（1人1台の学習用パソコンをはじめとしたICT機器を最大限活用した教育活動の推進）

【保育所等利用定員数・待機児童数の推移
（各年4月1日時点）】



【こべっこあそびひろば・六甲アイランド】



基本目標3:多様な文化・芸術・魅力づくり

○策定時の主な社会経済情勢の変化

- ✓ 感染症による価値観の変容(自然環境への関心の高まり、地方移住、ふるさと回帰)
- ✓ 感染症による訪日観光客数の急減
- ✓ 文化・芸術・スポーツなどの重要性向上
- ✓ 定住人口でもなく、交流人口でもない関係人口への注目

○主な課題と基本的な方向性

- ✓ **人口減少、東京一極集中**
⇒関係人口の創出・拡大と関係性の深化
⇒まちの魅力の戦略的PR
- ✓ **コロナ禍からの回復**
⇒感染症を踏まえた文化・芸術・スポーツの振興
⇒神戸観光の推進
- ✓ **まちの魅力の向上**
⇒神戸らしさを感じられるよう、まちの「顔」となるエリアの魅力の向上
⇒まちの質・くらしの質の向上
⇒世界に開かれた多様性のあるまちの実現

【神戸市観光入込客数推移】



※出典 令和2年観光入込客数について

基本目標3:多様な文化・芸術・魅力づくり

○令和3年度の主な取組み

- ✓ 「神戸国際フルートコンクール」の開催などwithコロナ時代における文化・芸術・スポーツ振興
- ✓ 三宮再整備において整備した「さんきたアモーレ広場」を活用した文化・芸術イベントの開催
- ✓ 名谷図書館など図書館整備の推進

第10回 神戸国際フルートコンクール

The 10th Kobe International Flute Competition

その瞬間、
あなたは何を思う

2021. ONLINE
8/26 (thu) → 9/5 (sun)

2022. IN KOBE
3/22 (tue) → 3/28 (mon)

【問い合わせ】神戸国際フルートコンクールの運営委員会 事務局 TEL:078-351-3997 <https://kobe-flute.jp/>
主催 神戸国際フルートコンクール運営委員会、神戸市、公益財団法人神戸文化芸術振興財団、公益財団法人日本フルート協会
後援 兵庫県、兵庫県、NHK神戸放送局、フジテレビジョン、神戸文化マナーサポートクラブ

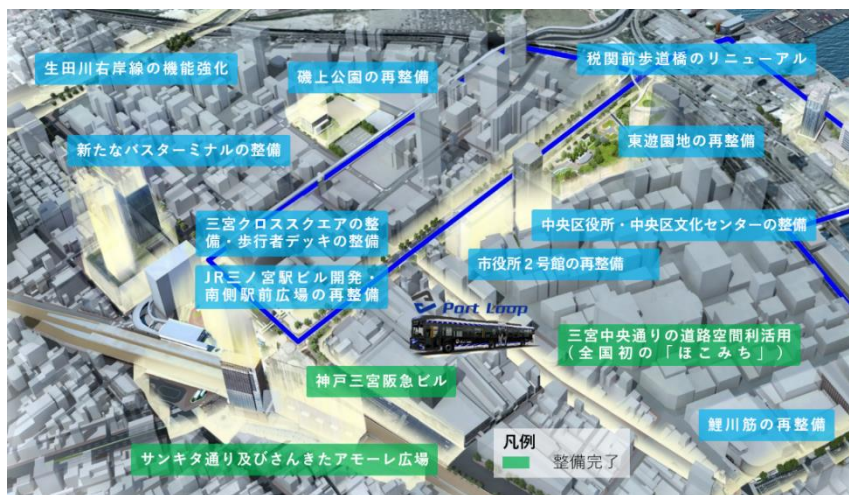


【都心・三宮の再整備の取組】

・コンセプト:海や山に囲まれ、駅とまちが近いという立地条件を活かし、駅を出た瞬間に訪れた人々が自然とまちへ誘われる、「美しき港町・神戸の玄関口」の創出

○令和3年度の進捗状況

- ✓ 神戸三宮阪急ビルが開業し、隣接するサンキタ通りを歩行者中心の空間として一体的に再整備
- ✓ さんきたアモーレ広場の供用開始
- ✓ 神戸市、西日本旅客鉄道株式会社、独立行政法人都市再生機構の三者連携による協定締結
- ✓ 三宮駅周辺におけるにぎわい創出(Street Table三ノ宮など)
- ✓ 新港突堤西地区の再開発(神戸ポートミュージアムのオープンなど)
- ✓ 「こども本の森 神戸」が3月にオープン予定
- ✓ 連結バス「Port Loop(ポートループ)」の運行開始



基本目標4: 災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築

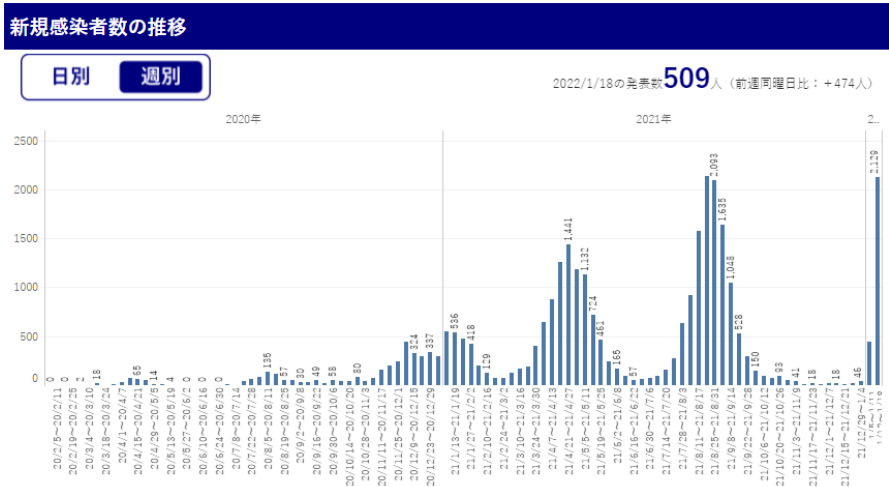
○策定時の主な社会経済情勢の変化

- ✓ 南海トラフ巨大地震の発生リスク増大
- ✓ 気候変動による風水害や異常高温の発生頻度の増加
- ✓ 新型コロナウイルス感染症等パンデミックの発生
- ✓ 「新しい生活様式」に基づく行動変容

○主な課題と基本的な方向性

- ✓ **感染症への対応**
 - ⇒ 感染症予防対策の強化や医療提供体制の構築
 - ⇒ 新しい生活様式への支援
 - ⇒ 行政手続きスマート化の推進
- ✓ **自然災害リスクの高まり**
 - ⇒ 防潮堤等ハード面の整備
 - ⇒ 県・市の連携など広域防災対策
 - ⇒ 避難を中心としたソフト対策
 - ⇒ 要援護者へのサポートや誰にとっても分かりやすい情報発信
- ✓ **まちなかの安全性の向上**
 - ⇒ 防犯カメラの増設

【新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移】

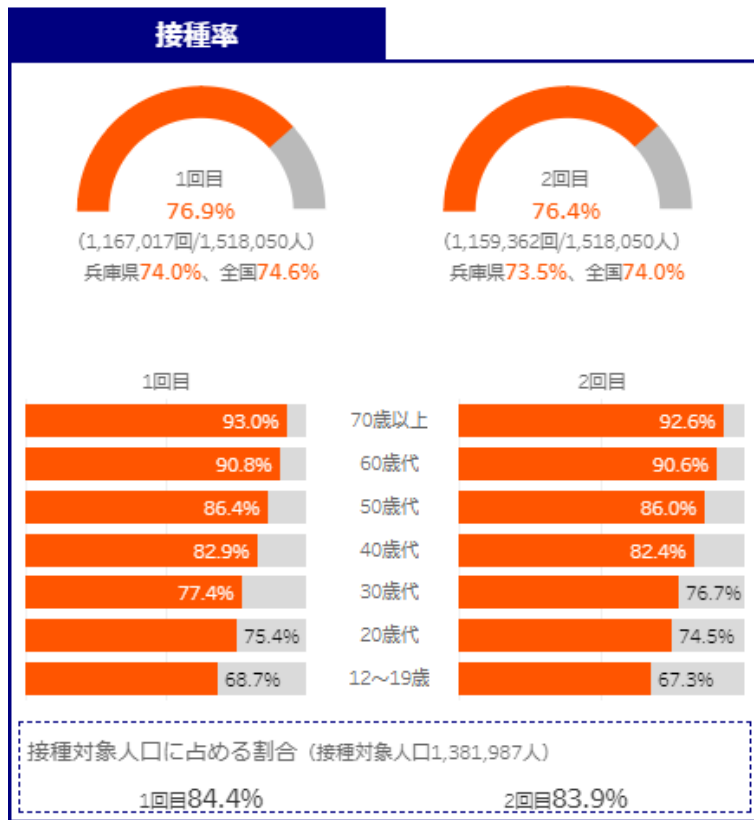


※令和4年1月18日時点

基本目標4:災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築

○令和3年度の主な取り組み

- ✓ 臨時専用病棟の運営など、医療提供体制の構築
- ✓ ワクチン接種お助け隊や大規模接種会場の設置など、ワクチン接種の推進
- ✓ 健康科学研究所による変異株のゲノム解析
- ✓ 通学路や主要駅周辺等への防犯カメラの重点設置
- ✓ 物資供給や次世代自動車の活用等、民間事業者との連携による防災力の強化



※令和4年1月17日までに報告があったもの

基本目標5:安心・健康でゆとりあるくらしの実現

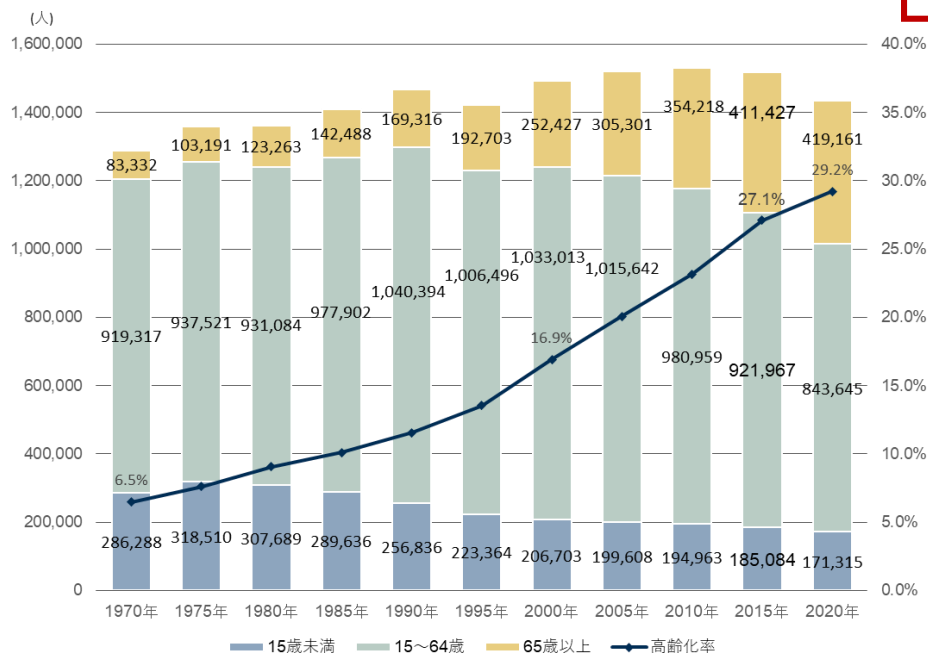
○策定時の主な社会経済情勢の変化

- ✓ 65歳以上の高齢者人口が過去最高を更新(2019年)
- ✓ 平均寿命の過去最高を更新(2020年)
- ✓ 社会保障費用の増加
- ✓ 疾病構造の変化
- ✓ 感染症による健康意識の高まり

○主な課題と基本的な方向性

- ✓ **健康長寿社会の実現**
 - ⇒ 予防医療・先進医療の促進
 - ⇒ 市民の健康づくり支援
 - ⇒ フレイルチェック、認知症予防、介護予防
 - ⇒ 神戸医療産業都市の推進
 - ⇒ 市民PHRシステム等の推進
- ✓ **誰もが安心して暮らせるまちづくり**
 - ⇒ 施設、インフラのバリアフリー化及び市民啓発
 - ⇒ 生活困窮者の支援

【年齢(3区分)別人口と高齢化率の推移】



出典 総務省国勢調査報告より

※ 年齢不詳者は除く

基本目標5:安心・健康でゆとりあるくらしの実現

○令和3年度の主な取組み

- ✓ こども・若者ケアラー相談・支援窓口の設置
- ✓ 自動PCR検査ロボットシステムの開発支援など感染症への取組み(神戸医療産業都市の推進)
- ✓ 高齢者・障害者及びその家族の金銭管理における権利擁護の連携協定(市・SMBC・みなと銀行)



支えたい。

*We are here
to make you smile.*

誰かを支えて
頑張るあなたを



家族のケアやお世話をしている「ヤングケアラー」は、**20人に1人**とされています。
家族のこと、自分のことで悩んだら、気軽にご相談を。

こども・若者ケアラー相談・支援窓口



基本目標6:将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ

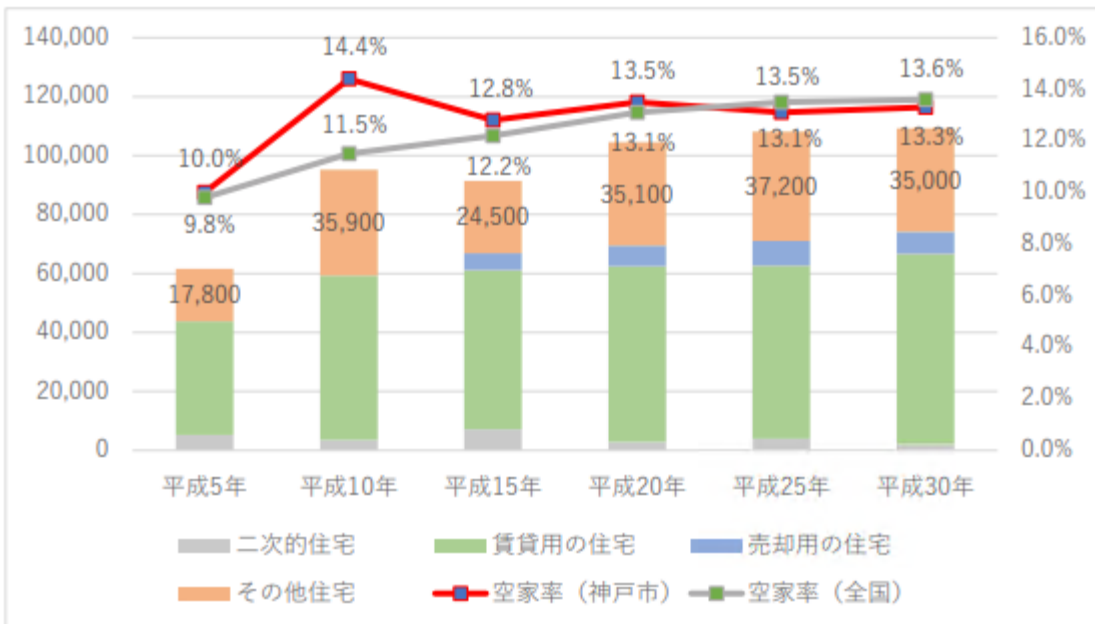
○策定時の主な社会経済情勢の変化

- ✓ MaaSなど新しい交通サービスの進展
- ✓ SDGsの広まり
- ✓ 世界的なカーボンニュートラル機運向上
- ✓ 海洋プラスチックごみ問題など環境問題への意識向上
- ✓ 空き家空き地問題の深刻化
- ✓ インフラ老朽化の進行

○主な課題と基本的な方向性

- ✓ **施設、建物、インフラの老朽化**
 - ⇒撤去・転用・再生の取組の加速
 - ⇒ストックマネジメント計画の策定
 - ⇒先端技術などの活用
 - ⇒新しい交通システムの検討
- ✓ **脱炭素社会、環境にやさしい社会の実現**
 - ⇒再生可能エネルギーの利用拡大
 - ⇒水素の社会実装の加速
 - ⇒サーキュラーエコノミーの推進
 - ⇒SDGs債の活用

【本市の空き家数等の推移】



※平成30年住宅・土地統計調査(総務省)

基本目標6:将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ

○令和3年度の主な取組み

- ✓ 空き家空き地の解消に向けた取組み(専門家等による課題解決の支援)
- ✓ プラスチックの水平リサイクルの実証実験
- ✓ 都心～ウォーターフロント間において連節バス「Port Loop(ポートループ)」の運行
- ✓ 市公用車に燃料電池自動車(FCV)の導入



大切な家の
これからを
考えよう。

空き家のことでわからないことがあれば、
すまいるネットに相談できます。

【王子公園の再整備に向けた取組】

- ・ 令和3年12月に「王子公園再整備基本方針(素案)」を公表し、パブリックコメントを実施

(再整備基本方針(素案)の内容)

○ 再整備コンセプト

『グローバル貢献都市を先導する学術・文化・スポーツ拠点の形成』

○ 基本的な方向性

① 学術・文化拠点のシンボルの創出

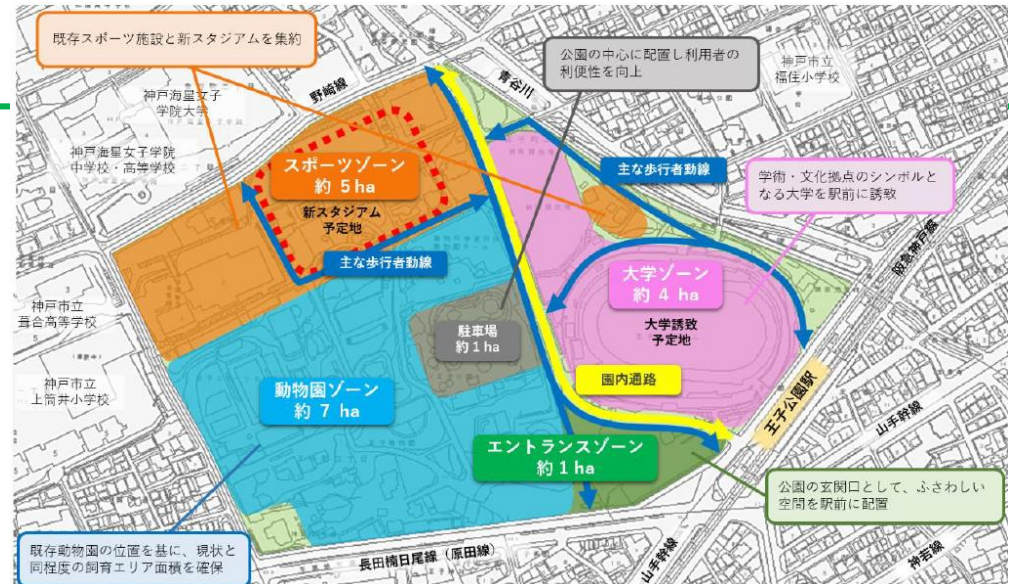
- ・ 神戸の国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致する。
- ・ 六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出する。

② 抜本的な公園のリニューアルによる集客力や魅力の向上

- ・ 交通至便な駅前の立地特性を活かした魅力ある都市型動物園へリニューアルする。
- ・ 関西アメリカンフットボールの聖地として新スタジアムを整備し、広域からの集客力を高めるスポーツ拠点とする。
- ・ 公園のエントランスに芝生広場などの居心地が良く、憩い・くつろげる空間を整備する。

③ 広域防災拠点としての機能強化

- ・ 新スタジアムやエントランスゾーンなどを活用した、災害時の物資の集積や救援活動など防災機能の強化を図る。



※ 基本方針(素案)のゾーニング 考え方

基本目標7:多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化

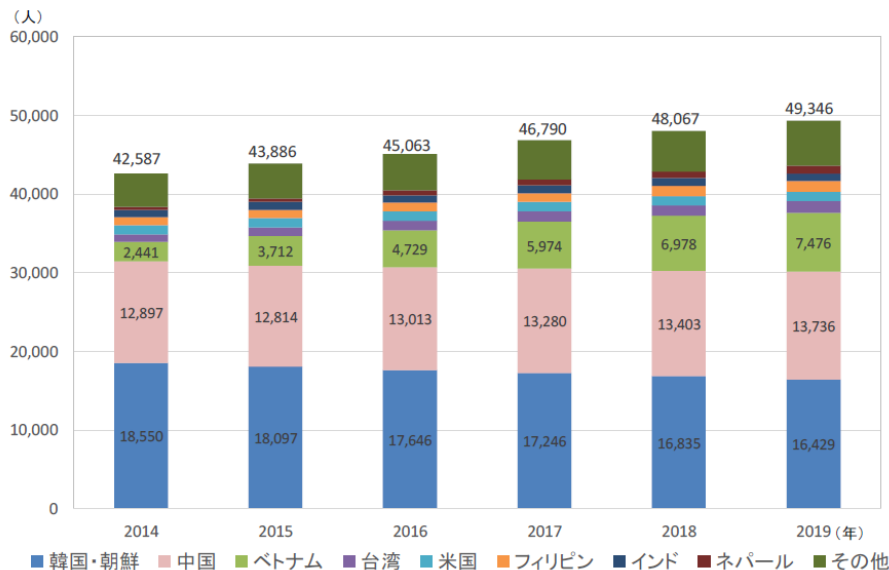
○策定時の主な社会経済情勢の変化

- ✓ 地域活動の担い手不足、高齢化
- ✓ 在住外国人の増加
- ✓ 産学官民や自治体同士の連携推進
- ✓ 単身世帯の増加と高齢化

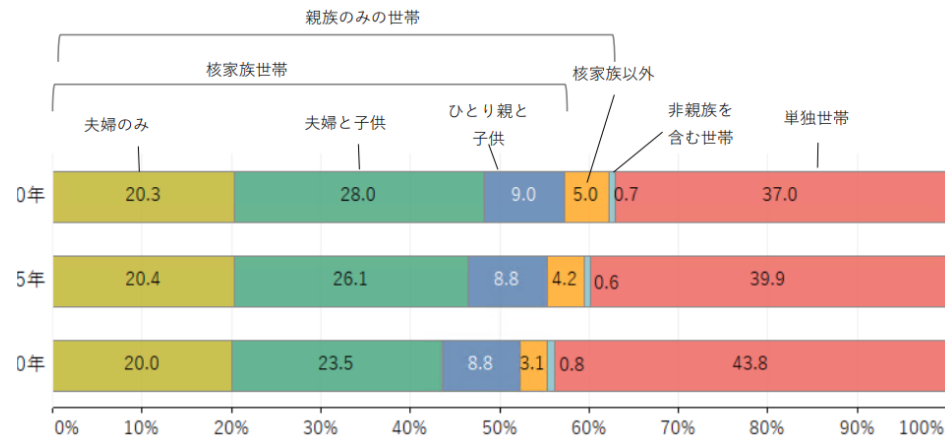
○主な課題と基本的な方向性

- ✓ **地域活動に取り組む担い手不足**
⇒多世代交流などを通じた地域コミュニティ活性化
⇒在住外国人との共生推進
- ✓ **地域課題の多様化・複雑化**
⇒NPO、企業、大学等の産学官連携の促進
⇒地域貢献活動等への多様な市民の参画推進

【本市外国人の住民数の推移】



【本市家族類型別一般世帯の構成比の推移】



※出典 本市国勢調査 人口等基本集計結果(概要)

(注)各年12月末日の数値。2019年時点で在住者が600未満の国・地域は「その他」に集約した。
(資料)住民基本台帳人口

基本目標7:多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化

○令和3年度の主な取組み

- ✓ 神戸国際コミュニティセンターの本部拠点を新長田に移転、さらに三宮・御影にも拠点を新設
- ✓ 学生が継続的な社会貢献活動に参加し、社会課題や地域課題の解決を支援するKOBE学生地域貢献スクラムの実施

【神戸国際コミュニティセンター】



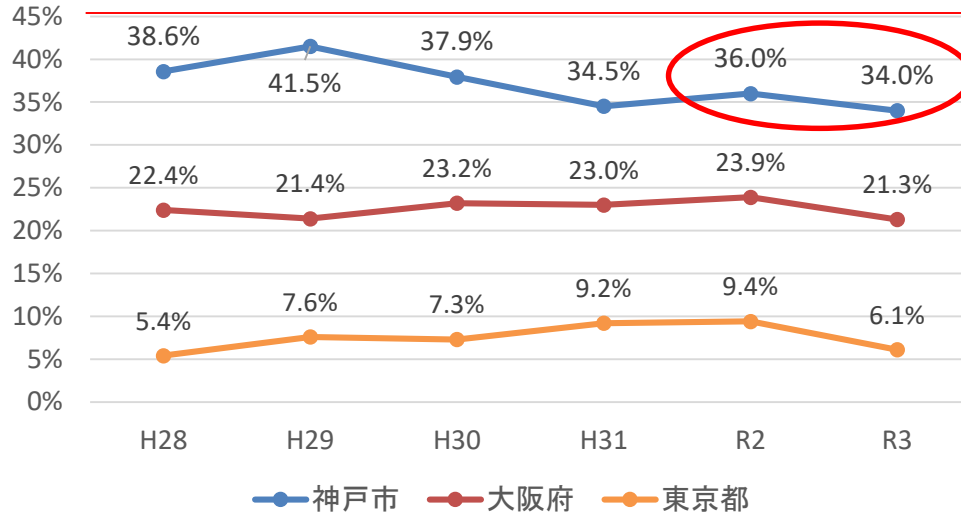
【KOBE学生地域貢献スクラム 募集プロジェクト】

主なプロジェクト	
ヌフ松森医院(里づくり拠点施設)みらいをつくる	神戸市を元気にする地域ポイントを創ろう
多世代交流のまちなか食堂	里山の整備と環境体験学習
神戸こども宅食プロジェクト	BEKOBE神戸の学生フードエイドプロジェクト
居場所活動を体験してみよう ～高齢者向けスマホ講師とイベント運営～	休耕田を再利用した有機農業の推進
諏訪山公園ニューノーマルプロジェクト	神戸学生スクラム広報プロジェクト

参考:ビジョンに定める数値目標のうち、令和3年度市民アンケートの結果

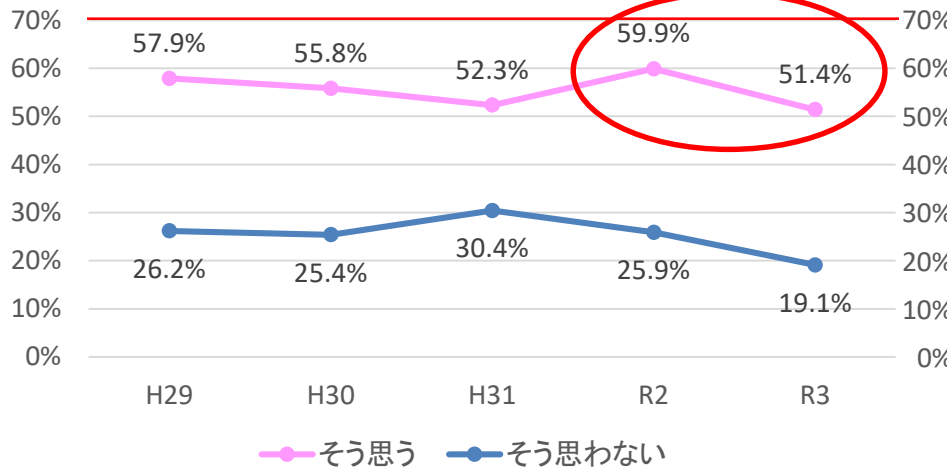
【基本目標1】大学生アンケート「勤務希望地を「神戸市」とした人の割合:45%以上(令和7年度時点)

就職活動を始めた時点で最も希望していた勤務地

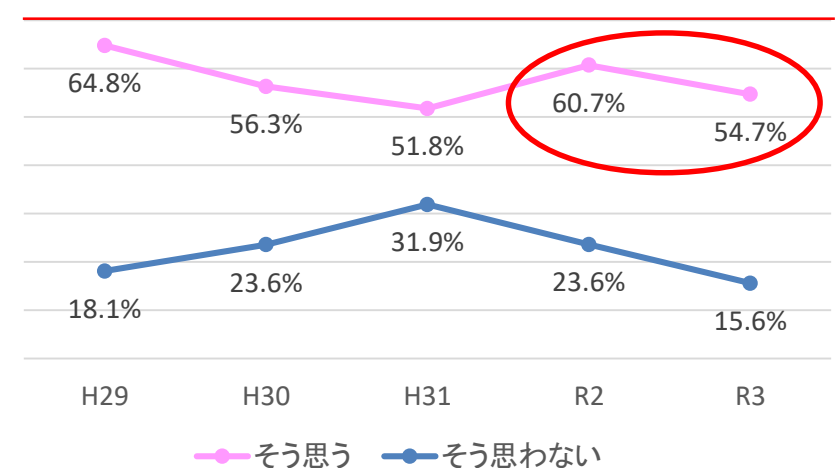


【基本目標2】在住者アンケート「子育て環境・教育環境が良いまち」の評価:70%以上(令和7年度時点)

子育て環境がよいまちである

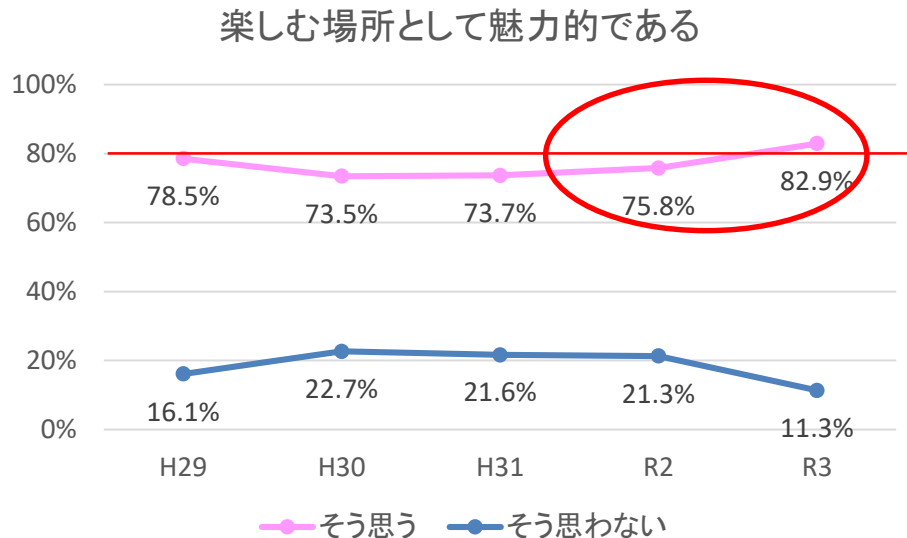


教育環境がよいまちである

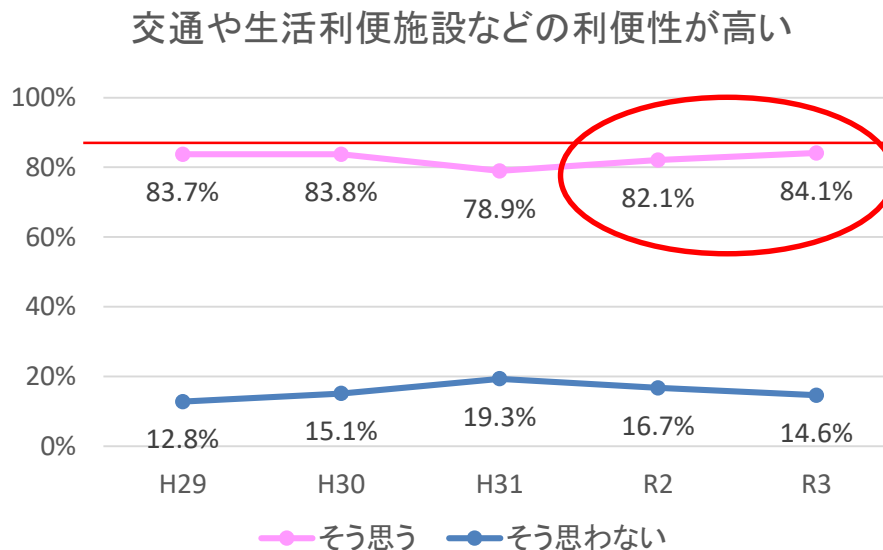


参考:ビジョンに定める数値目標のうち、市民アンケートの結果

【基本目標3】在住者アンケート「楽しむ場所として魅力的である」の評価:80%以上(令和7年度時点)



【基本目標6】在住者アンケート「交通や生活利便性施設などの利便性が高い」の評価:85%以上
(令和7年度時点)



(参考)民間の調査会社を実施する都市ランキングの状況

「日本の都市特性評価2021」での 本市の位置	
総合	6位
研究開発	9位
文化・交流	4位
参考	1位:大阪市、2位:京都市 3位:福岡市、7位:仙台市、 10位:札幌市 (国内主要都市138都市中)

「地域ブランド調査2021(魅力度)」	
1位	札幌市
2位	函館市
3位	京都市
7位	神戸市

共働きで子育てしやすい街ランキング (関西)	
1位	堺市
2位	奈良市
3位	神戸市
4位(同率)	京都市
	大阪市

出典

- ・森記念財団 都市戦略研究所「日本の都市特性評価2021」
- ・ブランド総合研究所「地域ブランド調査2021」
- ・日本経済新聞社及び日経×woman 調査結果
「共働きで子育てしやすい街ランキング(関西)」

(資料4)

ご意見交換：人口減少への対策について

ご意見交換テーマ：人口減少への対策について

- 将来にわたって持続可能な魅力ある都市であるためには、人口減少への対策が不可欠。
- 神戸2025ビジョンでは、2020ビジョンに引き続き、最重要課題として、様々な施策を盛り込んでいる。

人口の動きに対して
講じる政策

1. 直接人口の誘引や出生率増加
などを目的として講じる政策

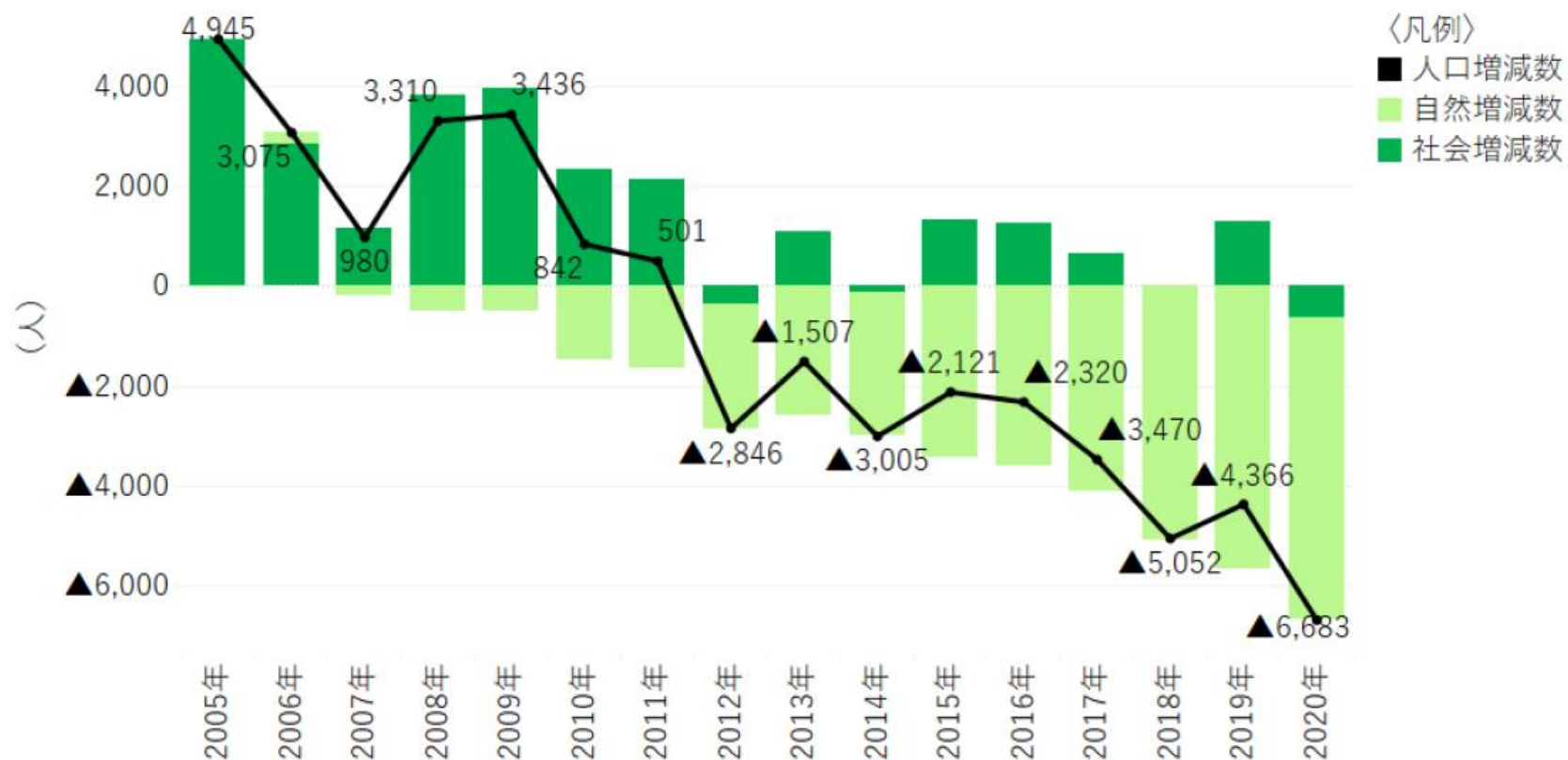
ex: 移住プロモーション、住宅助成、保育所の増設、育休
等取得促進 など

2. 人口の動きの変化の結果に
対応する政策

ex: 空き地空き家対策、計画的開発団地リノベーション
後継者不足対策、医療・介護従事者確保など

自然増減・社会増減の推移

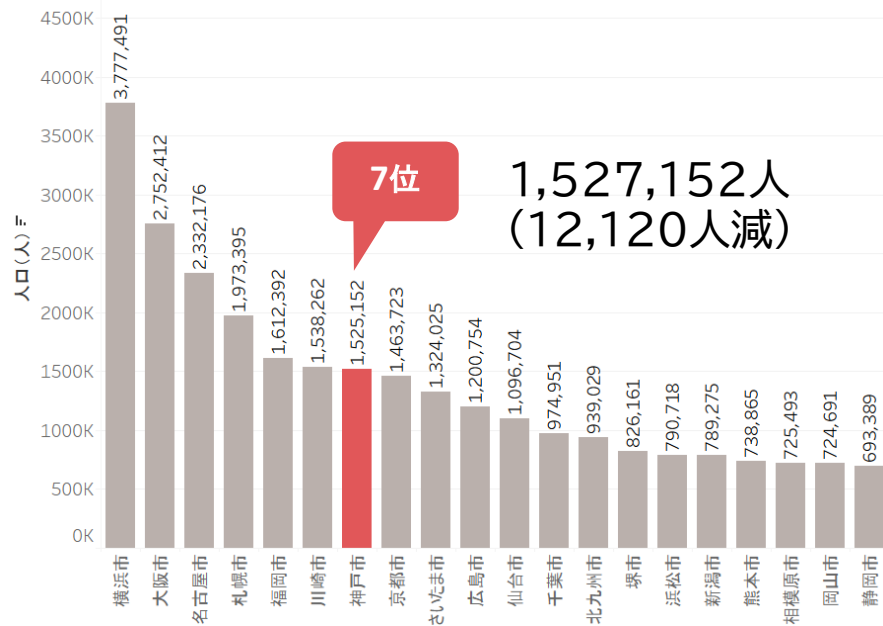
➤ 2011年をピークに減少。自然減少幅が拡大、転出超過となっている年も。



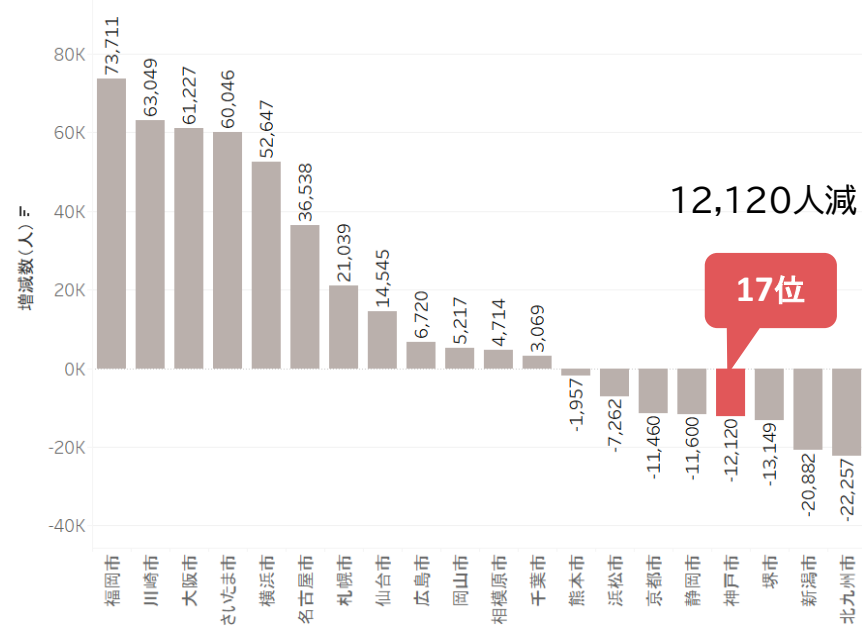
人口の現状(令和2年国勢調査)

- 令和2年国勢調査ベースで約152万人、政令市中7位。
- 過去5年間の人口増減数は、12,120人減少となり、政令市中4番目に大きい減少数となっている。

人口数

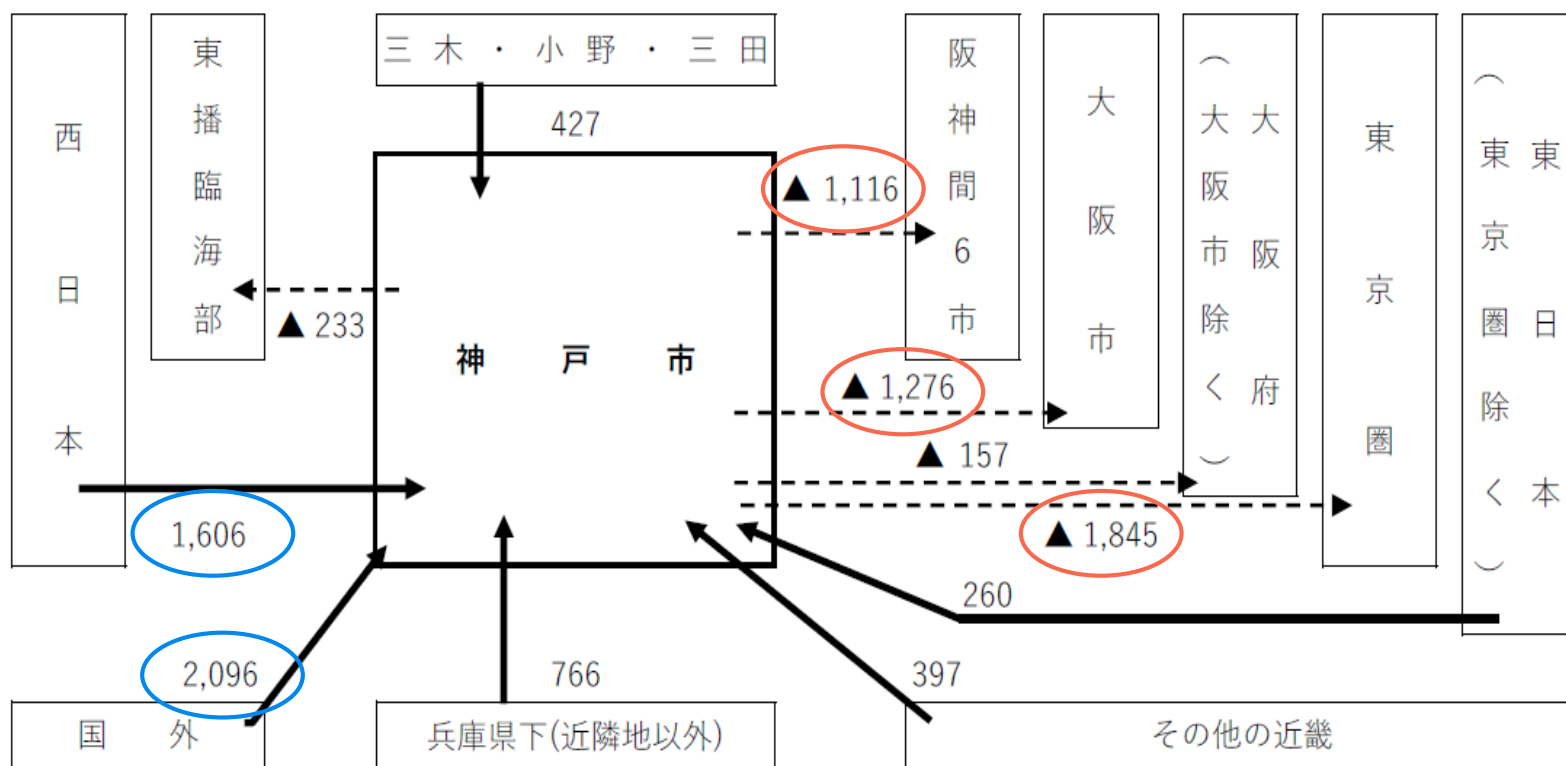


平成27-令和2年の人口増減数



相手地域先別転入超過数(2020年)

- 国外、西日本、兵庫県下(近隣地以外)からは転入超過となる一方、東京圏、大阪市、阪神間6市へは転出超過となっている。



大学数、年齢階級別転入超過数(2020年)

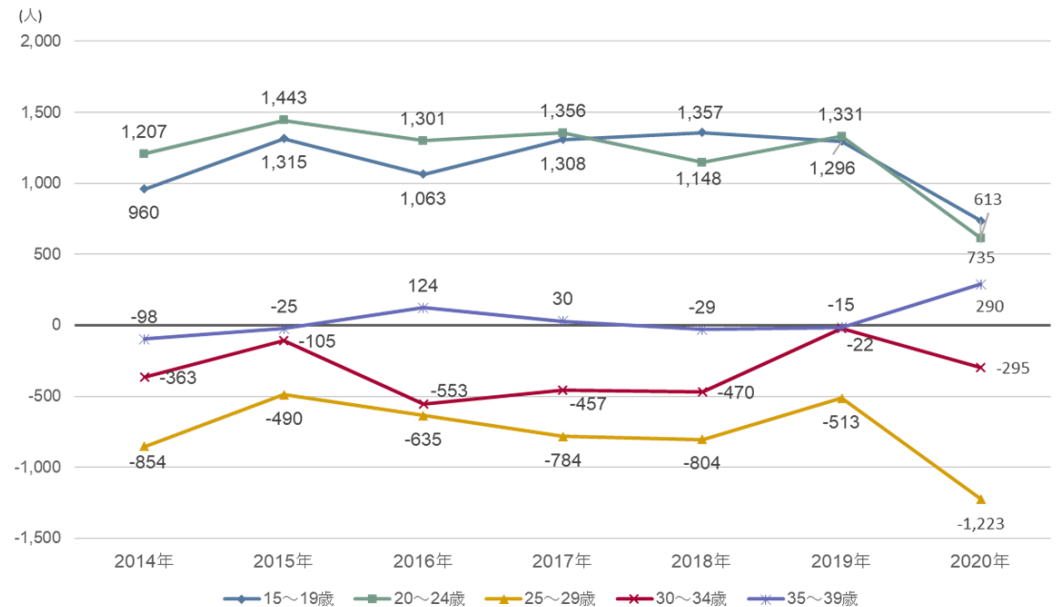
- 政令市の中でも大学等が多く、15～19歳の世代は転入超過。
- 就職直後の20～24歳の世代は転入超過となっているが、減少傾向。さらに25歳～29歳は大きく減少。これらの世代の移動に影響を与える「しごと」作りを進めていく必要。

【大学・短期大学数】

第1位 京都市37校
 第2位 名古屋市24校
 第3位 神戸市23校
 第4位 札幌市22校
 福岡市22校

※ 文部科学省 学校基本調査より

【15～39歳までの年齢階級別転入超過数】

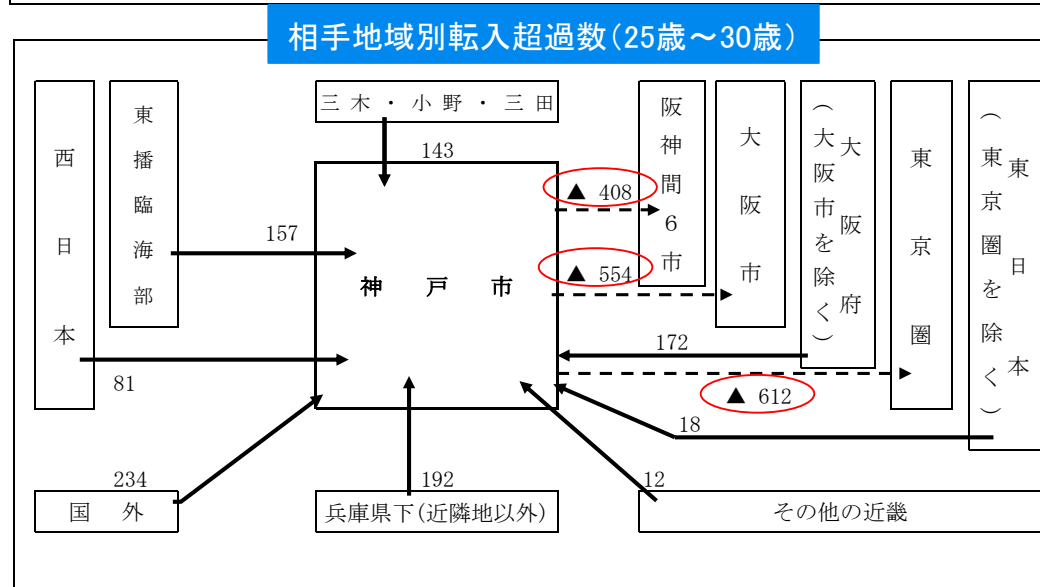
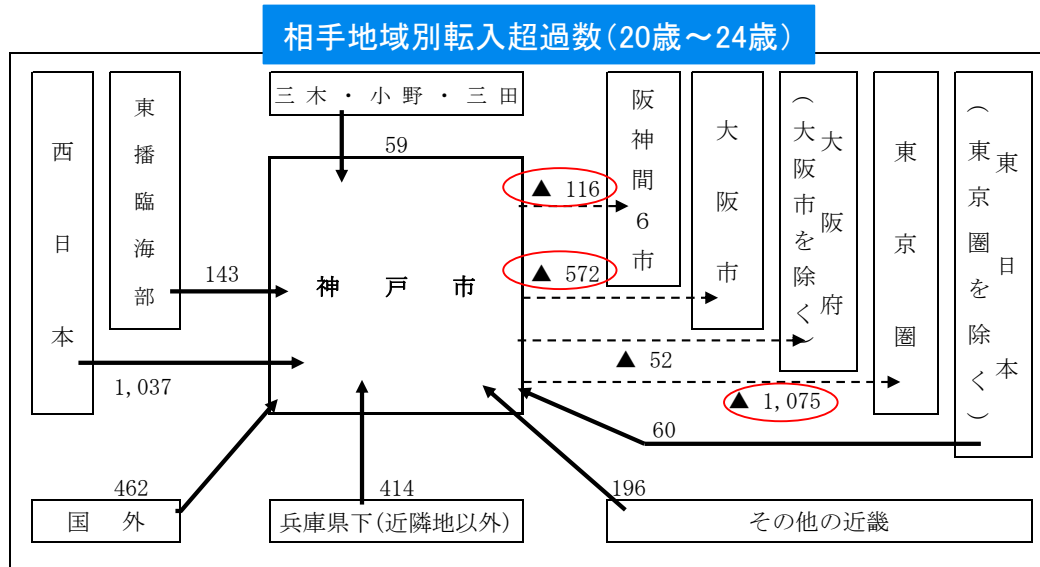


※大学入学が含まれる15～19歳の移動は、住民票の移動手続きをする大学生が約3割で実態より少なくなる。就職直後に移動者のほとんどが手続きをすることで、高校卒業後の移動が顕在化。

※住民基本台帳人口における年齢別の転入転出数をもとに算出

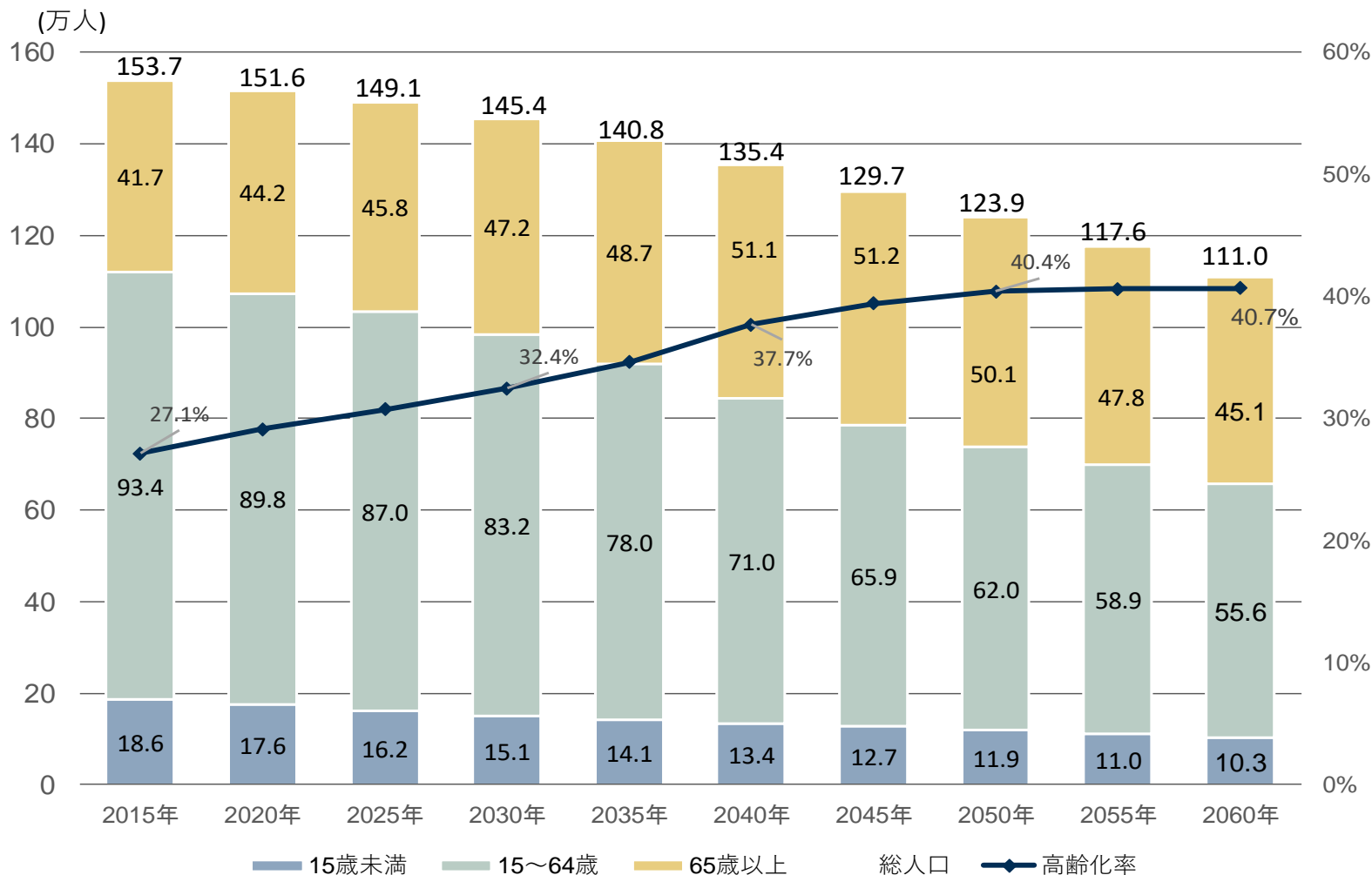
年齢別 相手先別転入超過数(2020年)

- 東京圏、大阪市、阪神間6市で大きく転出超過となっている。



人口の将来推計(2019年神戸人口ビジョンの推計)

- 今の傾向が継続すると2050年には、総人口は30万人ほど少なくなり、高齢化率も約40%となる。



人口の動きによって生じる課題例

➤ 人口構造の変化により、各施策分野で様々な影響や課題が生じうる

人口構造の変化が市民生活に与える影響や課題 (※現状の制度や環境を前提)	基本目標1 雇用・産業 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域経済の担い手不足 ✓ 市場の変化(高齢者向けの需要増など)に対応しきれず、産業分野ごとの雇用のミスマッチが発生 ✓ 地域の主要企業が減少、専門人材等の流出 	基本目標2 子育て・教育 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもの数の減少に伴う施設の統廃合の加速化・通学通園の遠距離化 ✓ 子ども同士の交流の機会の減少や一定規模を前提とした行事(例.運動会)ができなくなり、こどもの体験の希薄化、社会性の減退 ✓ 学校環境における人間関係の固定化 ✓ きめ細やかな学びの機会の減少 ✓ 保育士人手不足 	基本目標3 にぎわい・文化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ サービス需要が減ることにより、書店など、にぎわい施設が撤退 ✓ 文化継承の困難化 ✓ 歴史ある伝統文化財・行事の消失 	基本目標4 防災・減災 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の防災力の低下 ✓ 過去の経験・教訓の伝承が途切れる ✓ 高齢者等、要支援者の増加と支える人の不足 ✓ 避難所運営等緊急時の行政対応力の低下
	基本目標5 健康・社会保障 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり(2025年問題)、社会保障費が増大 ✓ 介護・医療ニーズ増大の一方で、介護・医療従事者不足が進行し、需給と供給バランスが崩れる ✓ 認知症高齢者の増加 ✓ 健康寿命延伸の必要性 ✓ 世代間での受給バランスが取れていないことによる世代間対立 	基本目標6 自然環境保全 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 農業従事者の減少 ✓ 農地面積の減少(かい廃農地、荒廃農地の増加)、食料自給率の低下 ✓ 農山村部の過疎化による不在地主化 ✓ 野生鳥獣被害の多発 ✓ 森林の整備不良、自然災害の発生 ✓ 生物多様性の喪失 	基本目標6 生活基盤・インフラ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 人口規模縮小・偏在に伴う各サービス/機能の縮小・ミスマッチ(住宅、日常の買い物、公共交通、医療・介護、教育、物流・配送等)、いわゆる「買い物難民」「医療難民」の増加 ✓ インフラの大量更新時期の到来の一方、人口構造の変化による需要の変化と財源不足 ✓ 住宅ストック過剰・空家化 	基本目標7 地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 担い手不足による共助機能の低下の一方、地域の主体的管理の役割が増大 ✓ つながりの希薄化による孤立者の増加 ✓ 地域コミュニティにおける多文化共生の課題

(女性の就職状況)女性の労働力率 大都市比較

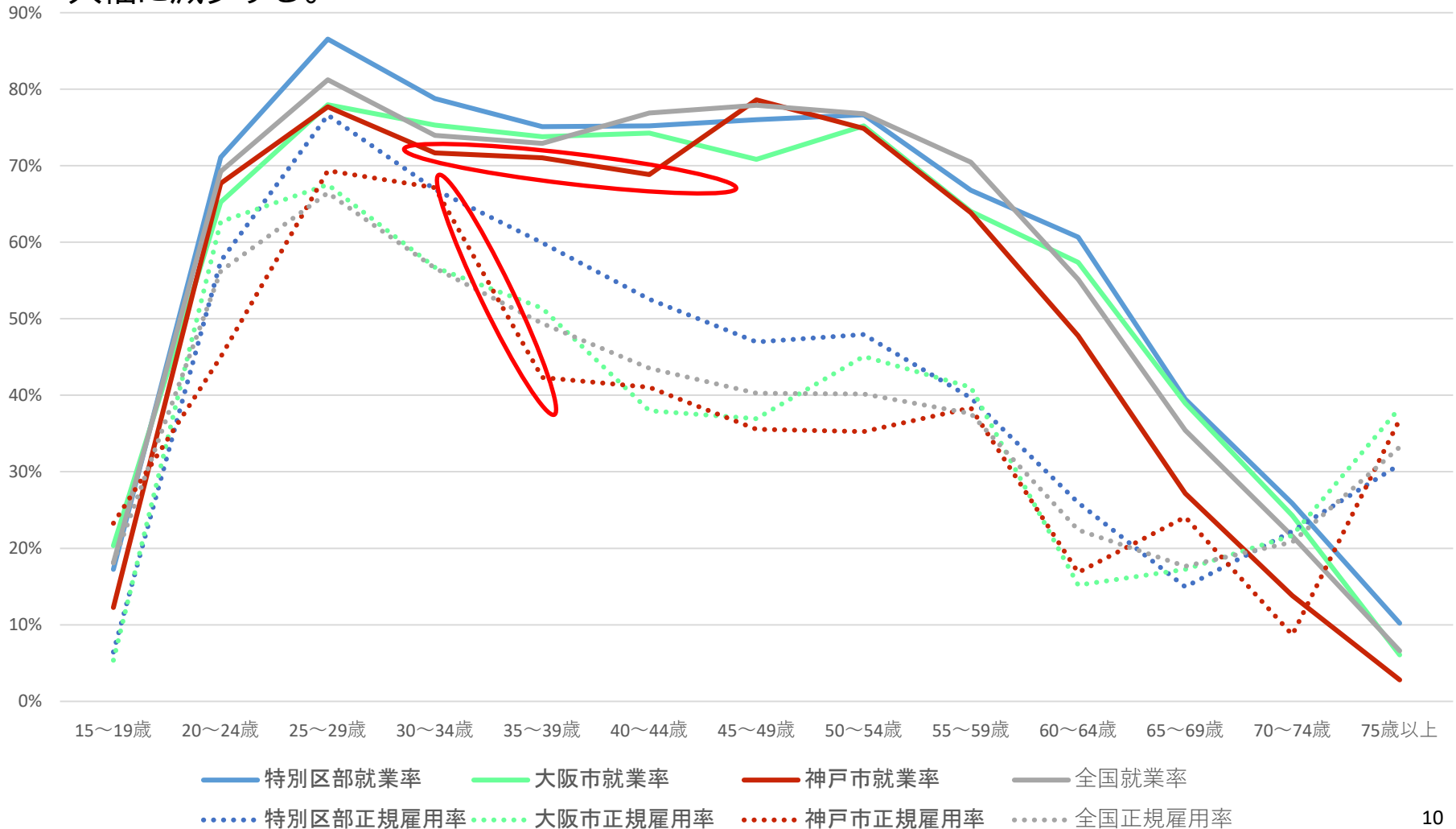
- 他的大都市と比較すると、女性の労働力率は、下から3番目と低い状況

【女性の労働力(就業者+完全失業者)率 大都市比較】※出典 平成27年国勢調査結果

	労働力率		非労働力人口内訳					
			家事		通学		その他	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
東京都区部	55.5%	1	24.6%	18	5.4%	16	14.5%	20
川崎市	53.9%	2	27.0%	9	5.9%	13	13.2%	21
福岡市	53.3%	3	24.6%	17	6.4%	5	15.6%	16
大阪市	52.7%	4	25.0%	16	5.0%	21	17.4%	9
熊本市	52.6%	5	22.9%	20	6.4%	4	18.1%	7
浜松市	52.1%	6	24.4%	19	5.1%	19	18.4%	5
名古屋市	51.9%	7	26.1%	12	5.6%	15	16.4%	12
広島市	51.6%	8	26.4%	11	6.0%	10	16.1%	14
静岡市	51.5%	9	25.1%	13	5.1%	20	18.3%	6
新潟市	51.4%	10	22.4%	21	6.1%	8	20.1%	2
京都市	51.4%	11	25.0%	15	7.0%	2	16.6%	11
岡山市	51.1%	12	25.1%	14	6.5%	3	17.4%	10
相模原市	50.8%	13	27.6%	8	6.2%	7	15.4%	17
さいたま市	49.5%	14	29.4%	3	6.3%	6	14.8%	19
横浜市	49.3%	15	29.6%	2	6.0%	11	15.1%	18
仙台市	49.3%	16	28.0%	6	7.0%	1	15.7%	15
千葉市	49.2%	17	28.7%	4	6.0%	9	16.1%	13
札幌市	48.1%	18	27.7%	7	5.2%	18	19.0%	3
神戸市	46.8%	19	28.7%	5	5.9%	12	18.6%	4
堺市	46.7%	20	29.7%	1	5.6%	14	17.9%	8
北九州市	46.2%	21	26.6%	10	5.3%	17	21.9%	1

(女性の就職状況)女性の年代別就業者割合と正規雇用割合

- 女性の年代別就業割合(M字カーブ)の比較では、全国や他の都市より鮮明にM字カーブを描く。
- 女性の年代別正規雇用率の比較では、25歳～34歳では全国を上回るが、35歳～39歳で大幅に減少する。



今回のご意見交換のテーマ

1. 市内学生の卒業後の定住促進

- 学生に魅力的な仕事とは。またその創出を図るには。
- 若者にとっての魅力とは。(若者文化、多様性、交流)

2. 女性が働き続けやすい環境づくり

- 女性がライフイベントに左右されず働く環境をつくるには。
- 企業等のマインドを変え、協力を得るには。

市内学生の卒業後の定住促進 現在の主な取組

- 市内学生の卒業後の定住に向け、魅力的なしごとづくりや大学等とのマッチングの推進などに取組んでいる。

若者に魅力的なしごとづくり	大学等と企業・地域とのマッチングの推進
<ul style="list-style-type: none"> ✓ DXの導入支援など市内企業の魅力向上 ✓ 起業から成長までの切れ目のない起業家支援 ✓ 医療、航空・宇宙、新エネルギー等の成長分野における企業誘致 ✓ 六甲山上スマートシティ構想の推進など、都市型創造産業の集積 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ HP「KOBE JOB PORT」等を通じた採用情報の発信 ✓ 就職説明会の開催 ✓ KOBE学生地域貢献スクラムなど学生の地域貢献、社会課題解決への参画促進 ✓ 大学発アーバンイノベーション神戸

(参考)神戸2020ビジョンの関連する主なKPI取組結果

施策	KPI項目	KPI数値目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
起業家支援	短期重点支援プログラムに対する投資家からの資金投入件数、資金投入額	資金投入件数:30件【累積】 資金投入金額:10億円【累積】	計画期間対象外	4件 130百万円	16件 570百万円	29件 672百万円	29件 990百万円	30件 1,120百万円
企業誘致の推進	ア)誘致企業数 (医療関連企業を含む) イ)雇用創出数 (医療関連企業を含む)	ア)260社【累積】 イ)7,000人【累積】	ア)53社 イ)1,480人	ア)128社 イ)4,262人	ア)197社 イ)5,875人	ア)286社 イ)8,288人	ア)339社 イ)12,188人	ア)394社 イ)13,627人
大学等の集積を活かした人材の育成・定着	学生・教職員に対する市内就職の意識啓発、市内企業とのマッチング等の年間実施件数	10件以上	5件	5件	8件	10件	11件	9件
「神戸里山暮らし」の推進	ア)新規就農者数 イ)農村部への移住・起業数	ア)250人【累積】 イ)100件【累積】	ア)54人 イ)11件	ア)99人 イ)32件	ア)138人 イ)43件	ア)171人 イ)60件	ア)202人 イ)77件	ア)236人 イ)92件

女性が働き続けやすい環境づくり 現在の主な取組

- ▶ 女性の再就職の支援、子育てと両立できるコワーキングスペースの整備、企業への啓発活動などに取組んでいる。

こうべ女性活躍プロジェクト

- ✓ 子どもと一緒に利用できるコワーキング・就活準備スペース(あすてっぷコワーキング)の設置
- ✓ リカレントプログラムの開催
- ✓ 女性リーダーの育成・ネットワークづくりの支援
- ✓ 女性活躍・多様な働き方の推進に向けた市内中小企業のサポート



(参考)神戸2020ビジョンの関連する主なKPI取組結果

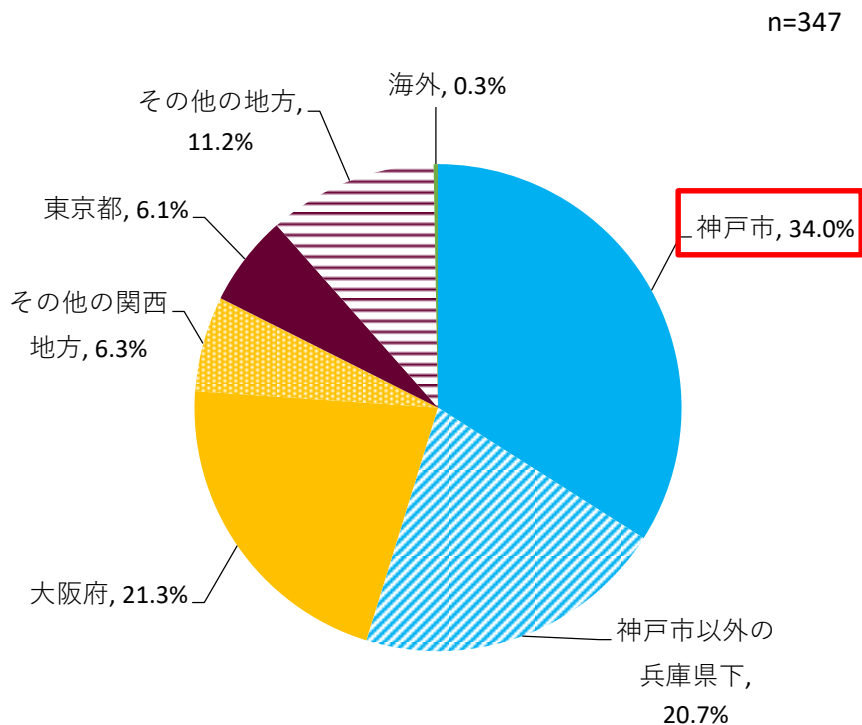
施策	KPI	KPI数値目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
女性の就職・再就職支援	未就労女性支援件数	375件(累計)	計画期間対象外	74件	125件	215件	279件	322件

ご意見交換のテーマに関するデータ集

就職意識に関する令和3年度市内大学生アンケート調査結果

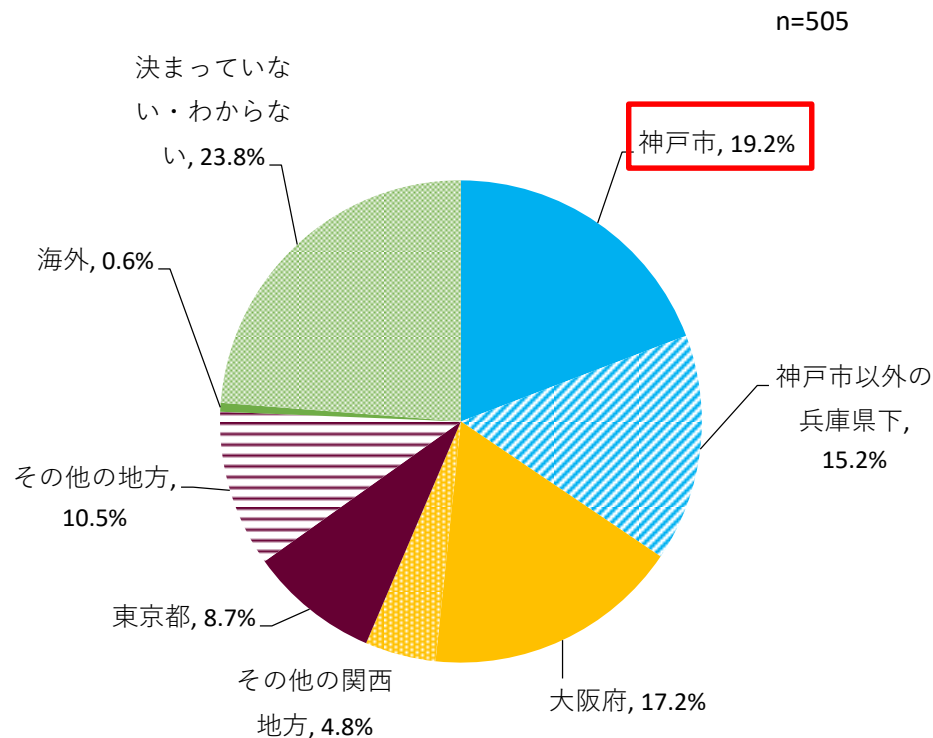
- 「神戸市」を希望勤務地として選択した学生は約3割。しかし、実際に可能性が高い勤務地は約2割に留まる。

就職活動を始めた時点での希望勤務地



注)「就職先が決定」及び「就職活動中である」回答者のうち、「希望する勤務地があった」回答者のみ

可能性が高い勤務地

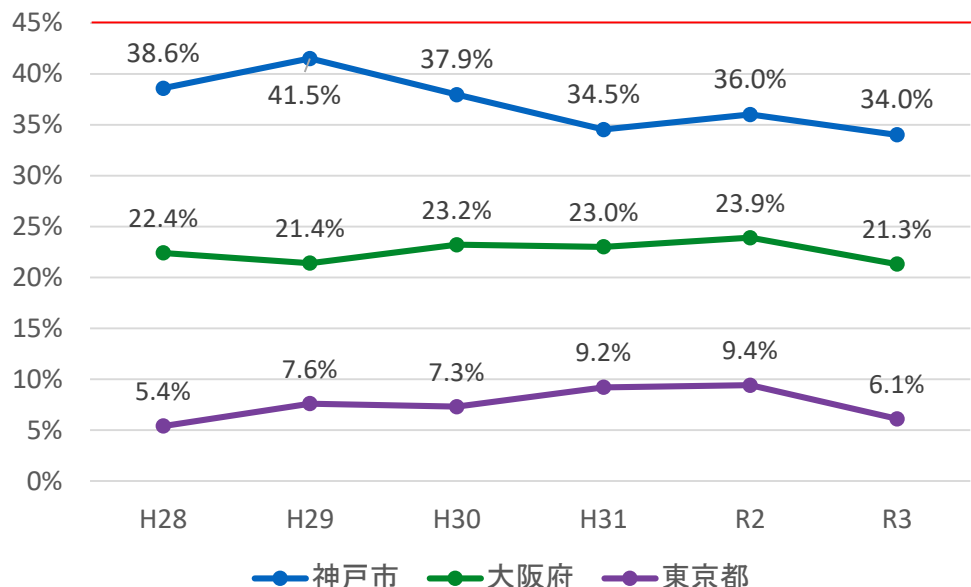


注)「就職先が決定」及び「就職活動中である」回答者のみ

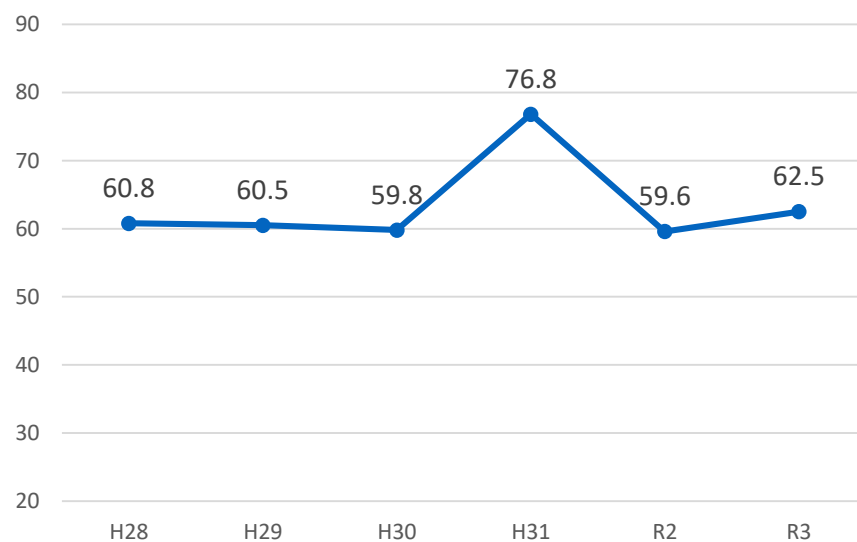
就職意識に関する大学生アンケート調査結果

- 「神戸市」を希望勤務地として選択した学生の割合は、例年3～4割程度。また、その内実際の勤務予定地が「神戸市」の割合は6割程度で、市内勤務希望者の約4割が何らかの理由で市外勤務となっている。

就職活動を始めた時点で最も希望していた勤務地(経年変化)



勤務希望地を「神戸市」と答えた学生のうち、実際の勤務予定地が「神戸市」である学生の割合(経年変化)

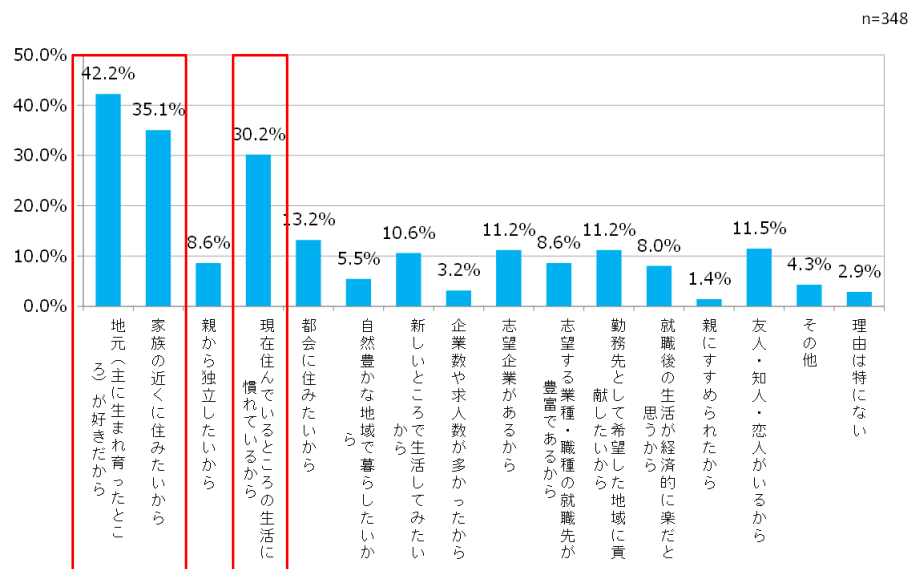


※ 神戸2025ビジョン 基本目標1魅力的なしごとの創出と産学連携による経済成長
数値目標:45%以上(令和7年度)

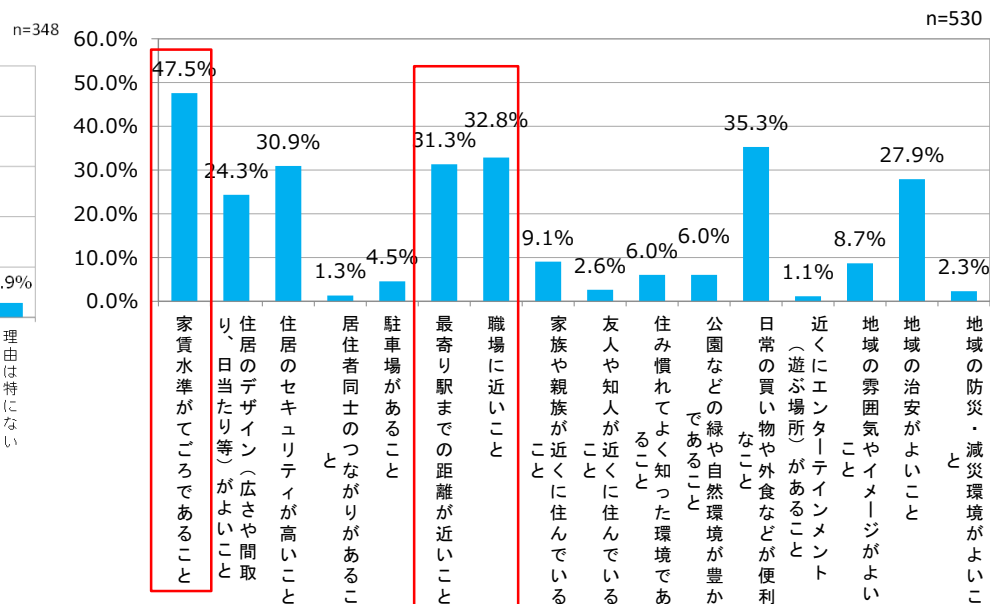
就職意識に関する令和3年度大学生アンケート調査結果

- 希望勤務地は地元や住み慣れた場所を選ぶ傾向がある。
- 就職後の居住環境としては、生活費のコストや利便性、職住近接の考え方も強い。

就職活動を始めた時点で最も希望していた勤務地の希望理由



就職後の居住環境として重要視する項目(3つまで)

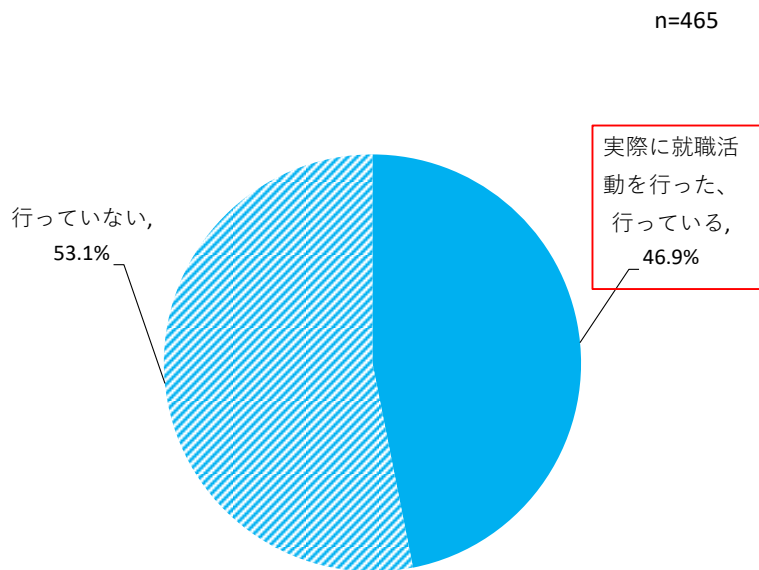


注)「就職先が決定」及び「就職活動中である」回答者のうち、「希望する勤務地があった」回答者のみ

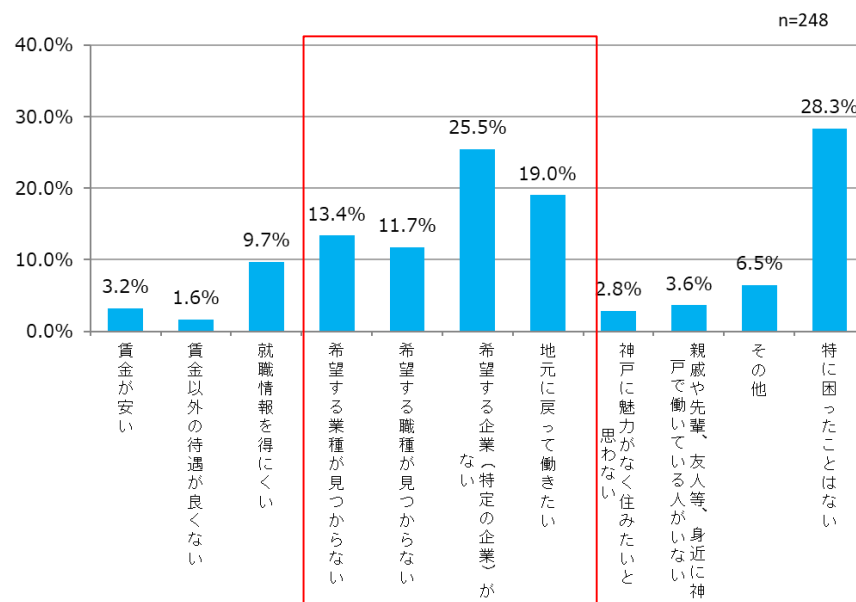
就職意識に関する令和3年度大学生アンケート調査結果

- 実際に市内企業等に就職活動を行った割合は5割程度。
- 市内企業等に就職活動をしていない理由として、地元志向が高いことその他、希望する企業、業種、職種が見つからないことが見受けられる。

神戸市内の企業・団体への就職活動の実施有無



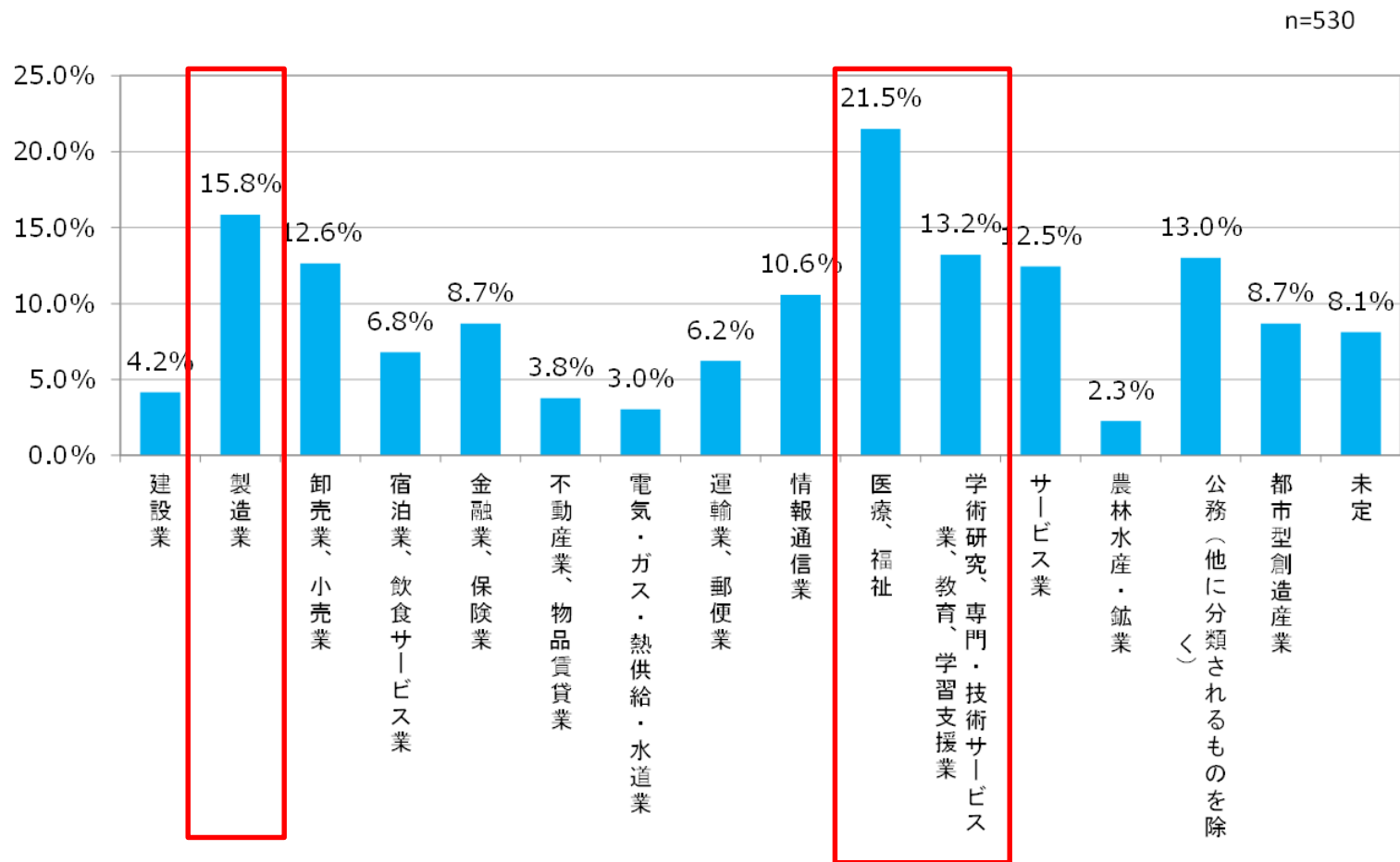
神戸市内の企業・団体に就職活動をしていない理由



注)「就職先が決定」及び「就職活動中である」回答者のみ

就職意識に関する令和3年度大学生アンケート調査結果

➤ 医療・福祉、製造業、学術研究等が多い傾向。

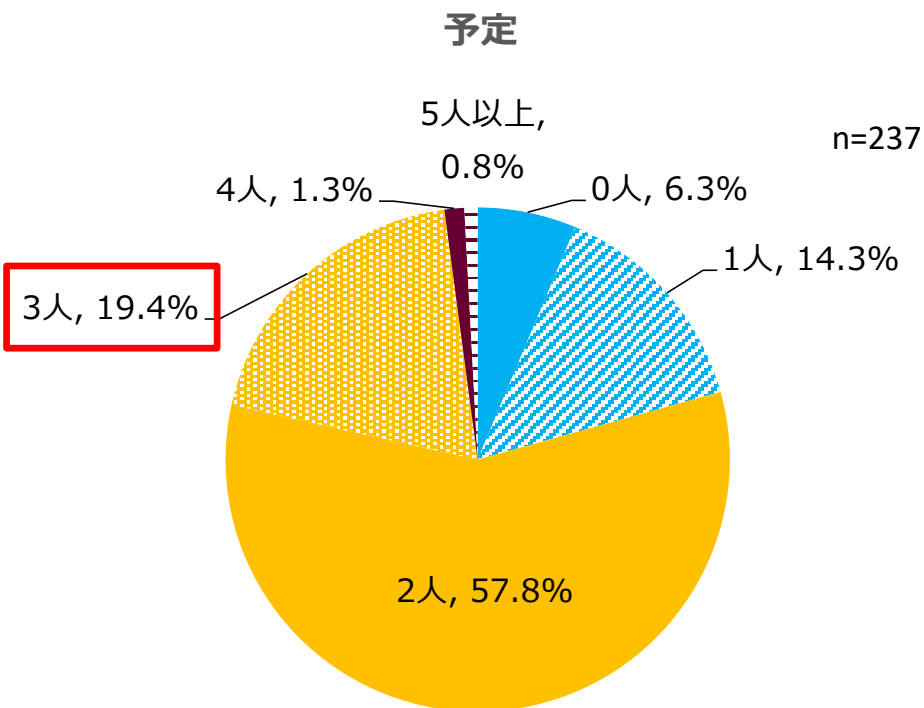
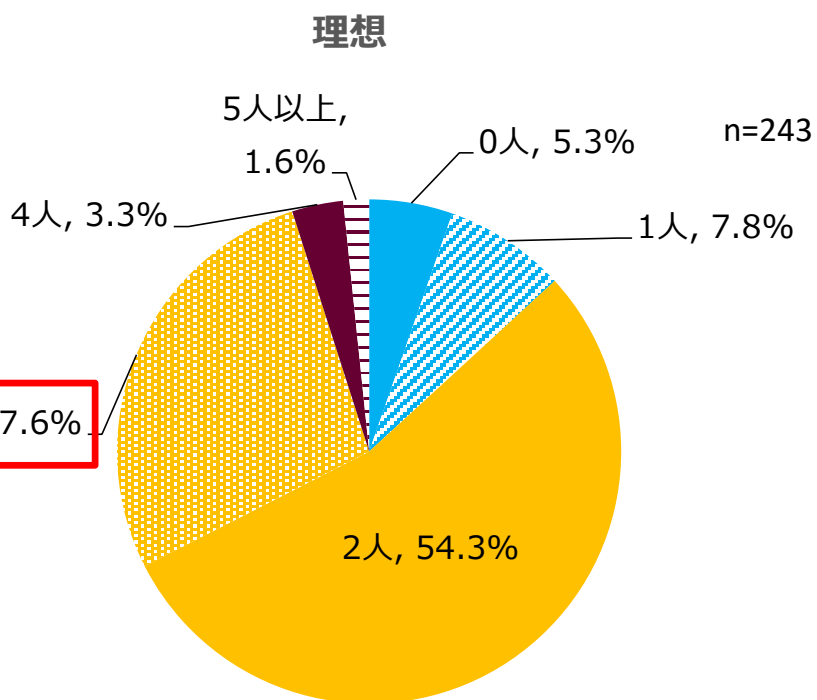


注)「就職先が決定」及び「就職活動中である」回答者のみ

令和3年度在住者アンケート

理想的な子どもの数・予定している子どもの数(配偶者有り)

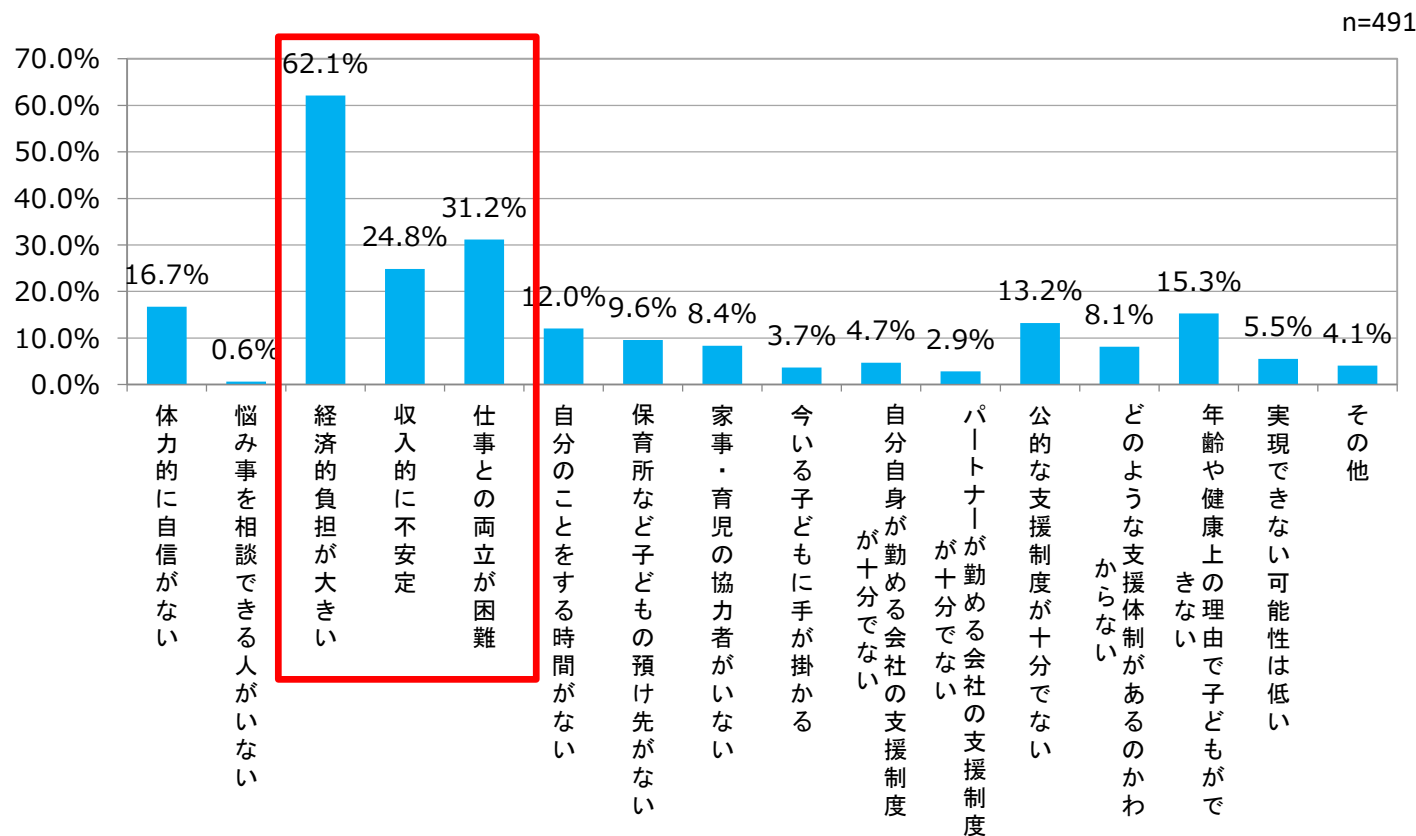
- 理想的な子どもの数と実際に予定している子どもの数を比較すると、「3人以上」で理想の方が高い。



注) 配偶者「有り」とした回答者のみ

令和3年度在住者アンケート 子どもの数が理想の数に満たない理由

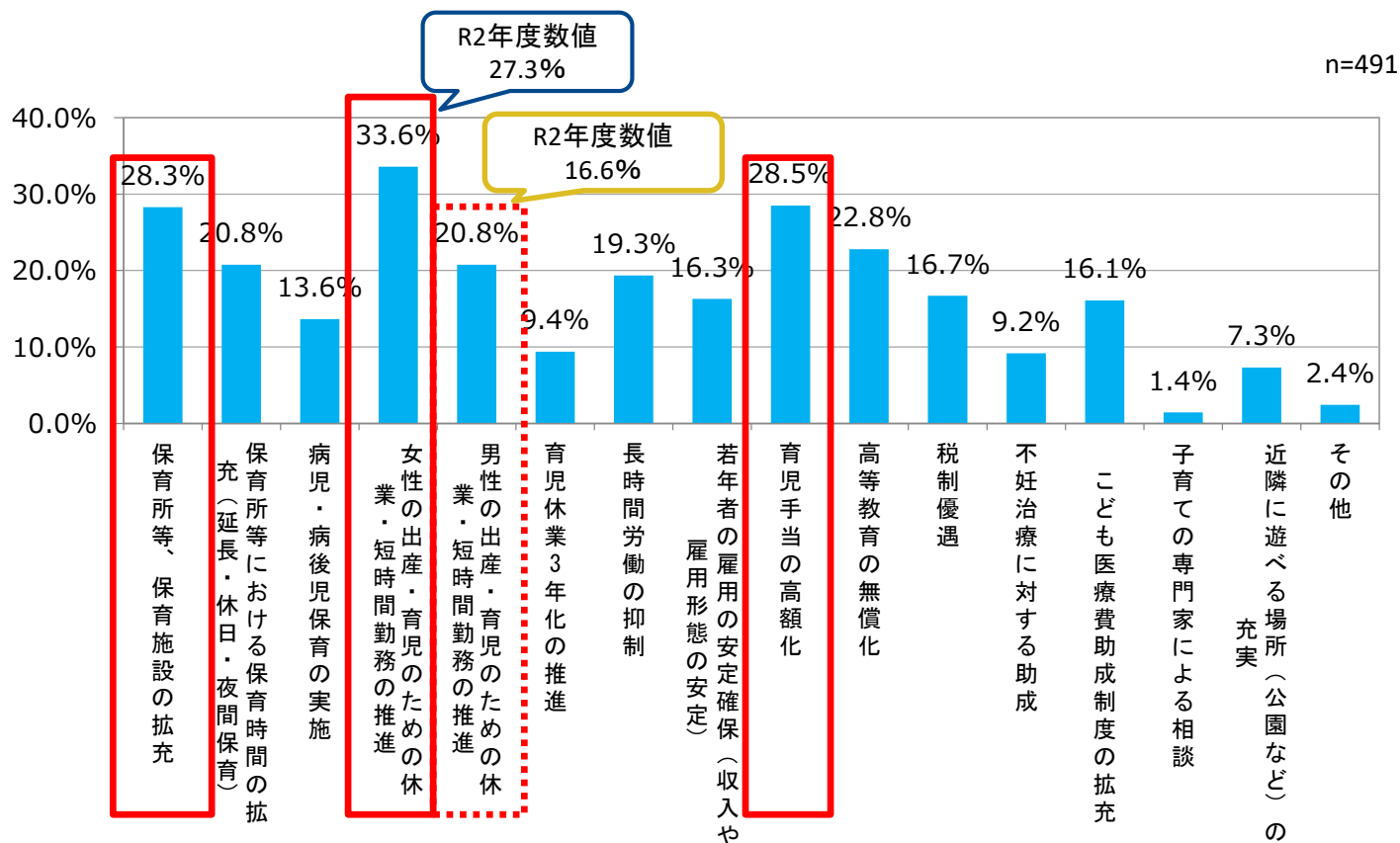
➤ 経済的な問題の他、仕事との両立の困難さが主要な理由とみられる。



令和3年度在住者アンケート

理想とする子どもの数を生み、育てるために必要な取組

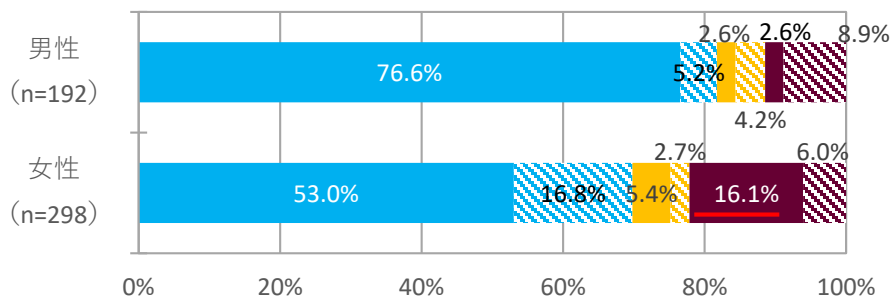
➤ 職場の制度や制度を活用しやすい職場環境、経済的支援、保育所等の整備が重要とみられる。



令和3年度在住者アンケート(就業状況)

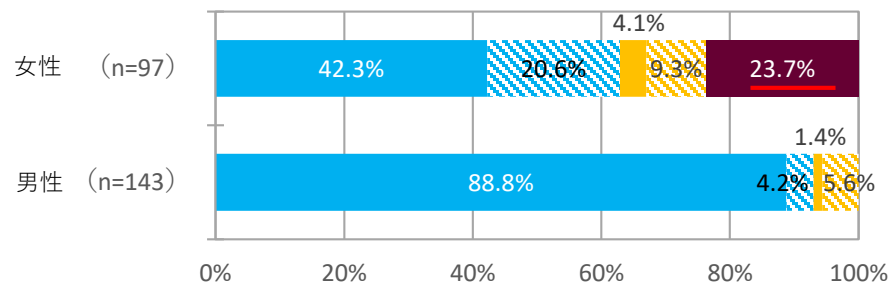
- ▶ 令和3年度に実施した在住者アンケートでは、回答者、配偶者ともに「無業・家事」の数値において、女性の方が男性より数値が大きく上回る。

【回答者の性別での就業状況】



- 正規の職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業者・内職
- 無業・家事
- 学生

【配偶者の性別での就業状況】

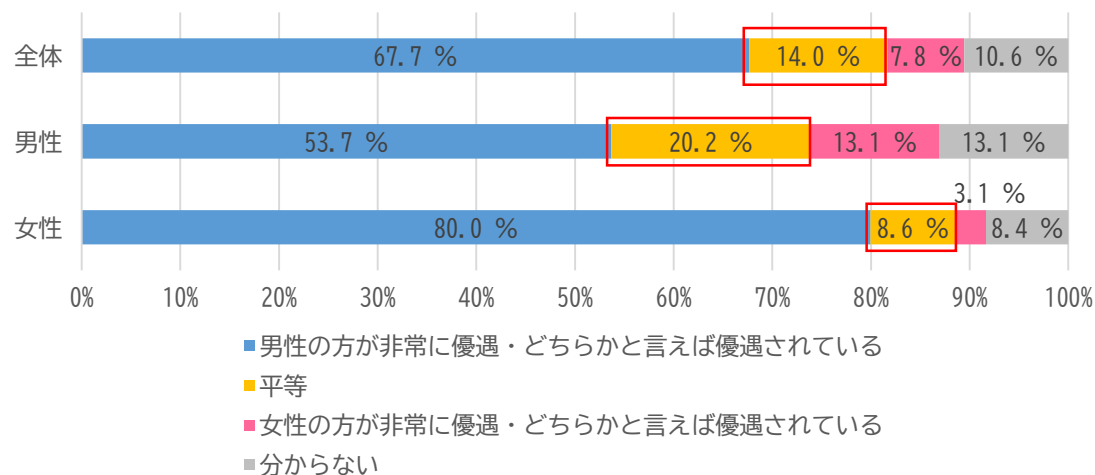


- 正規の職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業者・内職
- 無業・家事
- 学生

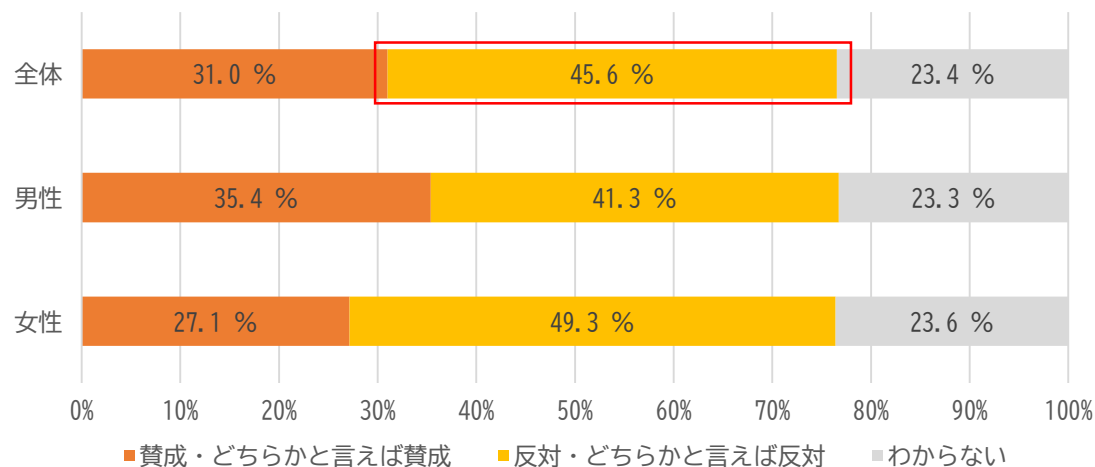
男女共同参画に関する神戸市インターネットアンケート調査(令和元年度実施)

- 固定的な性別役割分担意識やそれに基づく社会の制度や慣行等は、男女共同参画社会の形成、くらし方や働き方に大きく影響するとされ、理解の促進や意識改革につながる取り組みが重要。

【社会全体での地位の平等感】

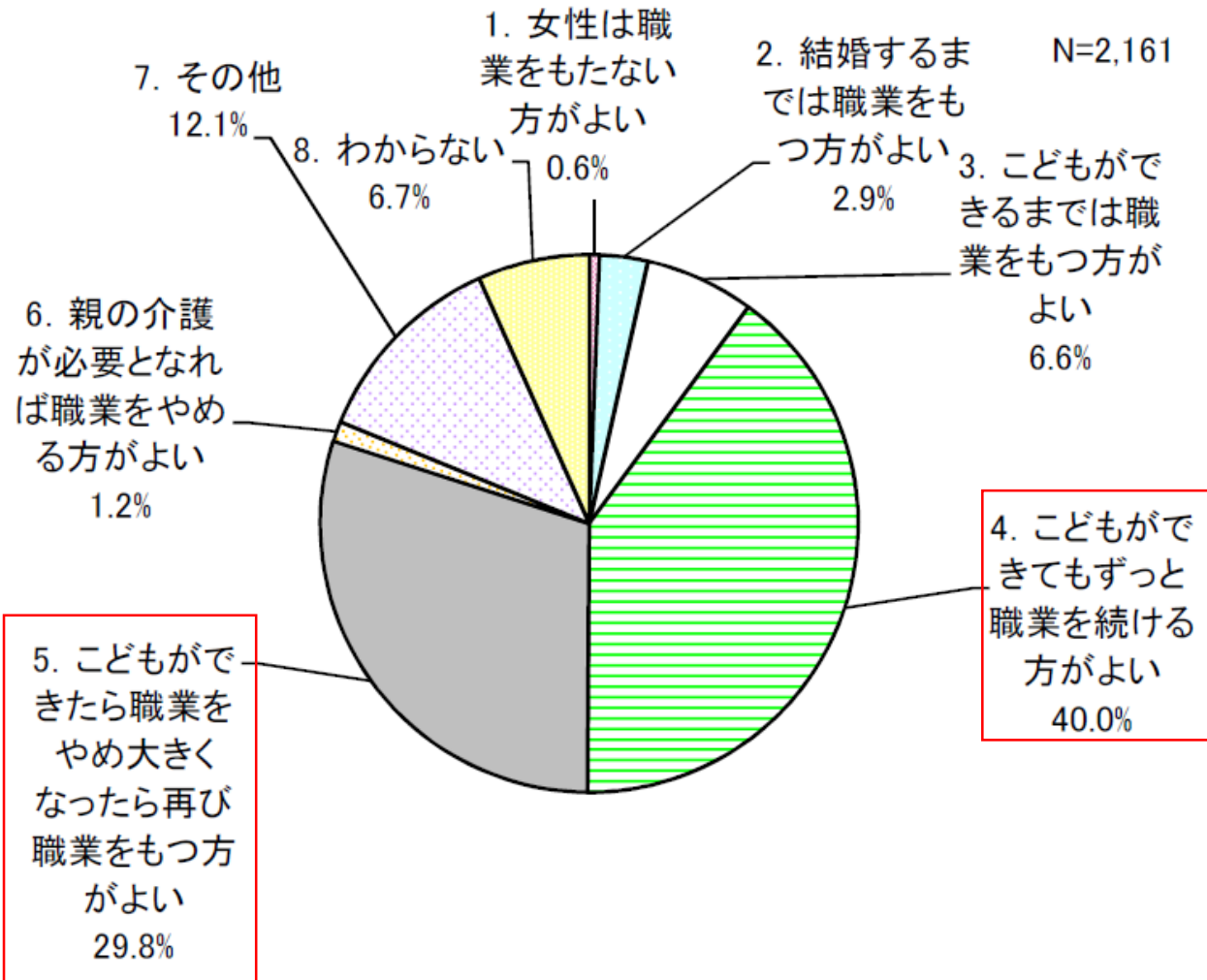


【固定的な性別役割分担意識】

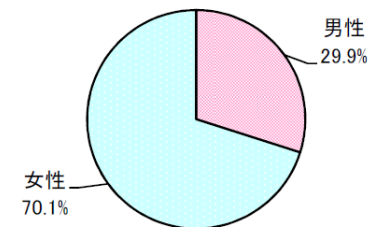


平成29年度神戸市ネットモニターアンケート調査結果

➤ こどもがいても仕事を続けたい、再開したいという方が多い。



【回答者の性別】



(参考)人口の動きに対する主な施策

➤ ビジョンで掲げた施策を中心に取り組みを進めている。

現在の主な 施策	基本目標1 雇用・産業 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 中小企業の生産性向上・事業承継 ✓ 外国人材の集積 ✓ スタートアップなど革新的な企業・創業支援 ✓ 企業誘致の促進 ✓ 持続的な農業と農村地域の活性化 ✓ 女性が活躍できる環境整備 ✓ 地場産業の振興・商店街の活性化 ✓ 観光振興 	基本目標2 子育て・教育 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 保育ニーズに対応した受入枠の確保 ✓ 未就学児の集団活動支援 ✓ GIGAスクール構想の推進／ICT学習環境整備 ✓ 子ども食堂、多様な学習支援 ✓ こども家庭センターの充実・再整備 ✓ いじめ対策の強化 	基本目標3 にぎわい・文化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 都心・三宮の再整備 ✓ ウォーターフロントの魅力向上 ✓ 駅周辺のリノベーション ✓ 図書館・スポーツ施設の整備 ✓ 王子公園の再整備 ✓ 六甲山上スマートシティ構想 ✓ 夜型観光コンテンツの開発 ✓ キッチンカー出店 ✓ 神戸国際フルートコンクール ✓ アーティストの活動機会の創出 ✓ 神戸歴史遺産の認定 	基本目標4 防災・減災 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 災害対応時の業務管理システム導入 ✓ 河川災害対策 ✓ 道路防災対策 ✓ 土砂災害対策 ✓ 高潮、津波、内水氾濫対策 ✓ 防犯灯・防犯カメラの設置 ✓ 消防力の強化
	基本目標5 健康・社会保障 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域医療の確保 ✓ 医療の変革 ✓ 神戸医療産業都市の推進 ✓ 健康経営の推進 ✓ 健康創造都市KOBEの推進 ✓ 認知症神戸モデルの推進 ✓ 介護・障害福祉サービス事業所の働きやすい職場づくり ✓ 外国人介護人材の受入促進 	基本目標6 自然環境保全 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 里山の保全・活用(生産緑地の維持、耕作放棄地の活用) ✓ 新規就農者支援 ✓ 農村定住「神戸・里山暮らし」 ✓ 「食都神戸」の推進 ✓ 生物多様性保全(生物多様性と農業の共存共栄、外来種の駆除、在来種・希少種の保護、環境学習) ✓ 水源涵養、土砂流出防止、野生鳥獣保護 	基本目標6 生活基盤・インフラ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 空き家・空き地対策 ✓ 子育て世帯への住宅支援 ✓ 計画的開発団地リノベーション ✓ リノベーション神戸 ✓ 公園施設のリノベーション(トイレのタッチレス化、ジョギングコース・健康遊具等) ✓ 路線バスの最適配置 ✓ 高校生の通学費助成 	基本目標7 地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 多世代交流の推進 ✓ UIK(Urban Innovation KOBE) などソーシャルビジネスの推進 ✓ 公民連携の推進 ✓ 学生の社会貢献活動の推進 ✓ 在住外国人の支援、交流促進

1 アスタ新長田「オールインワンオフィス」整備事業（H29年度整備）

【事業の概要】

・新長田駅南地区の再開発エリアにて、地区外からの事業転入者の誘致、周辺地区への定着による地区全体の活性化を目的とした、公共のビジネス交流拠点「オールインワンオフィス」を整備した。

【KPI 令和2年度実績】()内は目標値

- ・本計画における直接経済効果 471,000円増（1,256,000円増）
- ・拠点における会員からの会費収入月額 46,000円増（220,000円増）
- ・賃貸料増加率(レンタルオフィス) 610円増（0円増／月・坪）

2 高度外国人材等獲得促進事業

【事業の概要】

・留学生の獲得、市内就職・定着支援に関する施策を一体的に取り組むとともに、在住外国人への総合支援によるくらしの質の向上事業を通じて、高度外国人材のさらなる市内定着を図り、高度外国人材の獲得及び活躍を目指す。

【KPI 令和2年度実績】()内は目標値

- ・「留学」による在留資格から就労可能な在留資格に変更した市内在住外国人のうち、在留資格変更の翌年度12月末時点で市内に居住している者の数 187人増（60人増）
- ・「留学」による在留資格から就労可能な在留資格に変更した市内在住外国人数 254人増（120人増）
- ・留学生を対象とした地元企業とのマッチングイベント（合同企業説明会）等への参加者数 37人増（30人増）
- ・市内の大学・短期大学・専修学校の留学者数 3938人（4722人（100人増））

3 新たな交通政策の検討・実施

【事業の概要】

・コンパクトなまちづくりの検討に合わせ、次代の変化に対応した、市民の移動ニーズに合った公共交通を実現するため、まずは客観的なデータを収集し、それに基づいて公共交通の最適な配置を進める。既存の公共交通の見直しだけでなく、地域の特性や移動の実態に応じた新たな移動手段の導入を検討することで、地域の移動手段を維持・確保し、住み継がれるまちの実現を目指す。

【KPI 令和2年度実績】

- ・新たな移動手段の導入数 1箇所増（1箇所増）

4 里山地域における「しごとつくる」プロジェクト

【事業の概要】

・海・山に囲まれたコンパクトな都市部、国内有数の大学集積、県内有数の農村地域など多種多様なプレーヤーが互いに連携しながら活躍できる地域特性を最限に活かしながら、人口減少・高齢化が課題である市内農村地域に新たに移住・起業者を呼び込むため、農村地域で活躍できる人材を育成する里山起業スクールを開催。また、スクール修了生等が農村地域で活躍するための住居・起業拠点を整備し、移住・起業を促す。併せて神戸里づくりサポーターを創設し、地域内連携、広報発信を強化する。

【KPI 令和2年度実績】 ()内は目標値

- ・里山起業スクールを終了した受講生のうち、農村地域へ移住または農村地域で起業した人数 6人増 (10人増)
- ・里山起業スクール受講者数 22人増 (20人増)
- ・里山地域活性化拠点施設の整備 2箇所増 (4箇所増)

5 健康・医療分野におけるベンチャーエコシステム構築事業

【事業の概要】

健康・医療分野の技術シーズを活用する創業前後のスタートアップ（ベンチャー）を重点的に支援することで、同分野における事業化件数及び成功確度を底上げし、健康・医療分野の企業を神戸医療産業都市に集積し、地方創生の一助とする。

【実施事業】

- ・健康・医療分野のスタートアップを伴走支援する専任コーディネーターを配置。（市単独事業）
- ・全国の創業前後のライフサイエンス分野のスタートアップを発掘し、事業化を促進するアクセラレーションプログラムを提供。（市単独事業）
- ・技術の社会実装の可能性を検証する概念実施費用に対する助成金の提供。
- ・創業前後のスタートアップが初期投資を抑えて利用できるシェア型のインキュベーションラボの整備・運用。

【KPI 令和2年度実績】 ()内は目標値

- ・交付金対象事業を活用して神戸医療産業都市に進出した企業・団体数 8社・団体増 (12社・団体増)
- ・ベンチャーとのオープンイノベーションを求めて神戸医療産業都市に進出した企業・団体数 2社・団体増 (2社・団体増)

6 都市型創造産業及びクリエイティブ活動の集積と新たな価値の創造による六甲山の活性化

【事業の概要】

六甲山上エリアにおいて、都市型創造産業に関する事業所進出のニーズや誘致に向けた効果的なインセンティブについて基礎調査を行い、企業による山上遊休施設などの活用等により、オフィスの誘致を進める。併せて、既存施設などと連携して、施設の一部をワークスペース活用し、六甲山上全体をクリエイティブ活動ができる、他都市にはない、魅力的な空間へと成長させる。都市型創造産業等の集積、観光と仕事の融合という新たな六甲山上での魅力を発信するため、戦略的なプロモーション活動を行う。

【KPI 令和2年度実績】 ()内は目標値

- ・六甲山上の都市型創造産業関連事業所数 1箇所増 (2箇所増)
- ・六甲山上のワークスペースの活用事業者数 10人増 (10人増)
- ・神戸市観光客入込客数（六甲・摩耶） 119万人 (222万人 (7万人増))

7 先端技術による価値創造社会づくりプロジェクト

【事業の概要】

・荷物配送など民間分野での目視外飛行も含めたドローンの利活用（災害対応、インフラ維持管理、農林水産業等）を促進するため、最新技術を用いたドローンを防災・農林・土木等の多様な行政分野で先行的に利活用する。（兵庫県との共同事業）

【KPI 令和2年度実績】（）内は目標値

- ・製造品付加価値額 - 億円増（500億円増）※令和2年度の数値は年末に算定。
- ・産学官共同研究参加企業数等 59団体増（50団体増）
- ・目視外でのドローンの飛行面積 48ha増（27ha増）

8 閉園幼稚園を活用した「地域の方の働く場」及び「地域活性化の場」の整備

【事業の概要】

・若年・子育て世帯の流入促進と流出抑制を進めるため、若年世帯に求められる共働きや職住近接等のライフスタイルに対応し、就業場所が限られている名谷エリアで、子育て中の方など短時間勤務を希望される方を対象とした新たな雇用を創出する「地域の方の働く場」を整備するとともに、子育て世代・若者・高齢者など様々な世代が集うことができる「地域活性化の場」をあわせて整備することにより、多世代交流の機会を創出し、地域の活力を維持向上させ多世代のひとが共生し持続可能なまちづくりを推進することで地方創生の実現につなげる。

【KPI 令和2年度実績】（）内は目標値

- ・「地域の方の働く場」の雇用者数のうち若年・子育て世帯かつ新規就業者（49歳以下かつ直前未就業者）69人増（10人増）
- ・「地域の方の働く場」の若年・子育て世帯の就業者（49歳以下）の中で「地域活性化の場」での地域コミュニティ活動参加者割合 -56%減（5%増）

9 革新的な医療技術の創出を加速させる次世代医療開発センター整備計画

【事業の概要】

・新たに建設されるオープンイノベーション拠点ビルに、最先端の研究設備や動物実験設備、共同ラボスペースを備えた「次世代医療開発センター（仮）」を設置し、高品質な研究環境の共同利用を促すことにより、集積する企業や新たに拠点ビルに入居する企業による医薬品等の研究開発を効果的に支援し、革新的な医療技術等のイノベーションを創出し、神戸市の医療産業を更に発展させ、神戸市の所得拡大や更なる「まち」の活性化を図る。

【KPI 令和2年度実績】

令和2年10月より同施設の供用開始を予定していたが、工期が遅れ、令和3年3月末に整備完了となった。そのため、令和2年度中の供用開始および活動の実績値無し

10 シミュレーション技術とビッグデータ処理技術の高度連携によるものづくり革新拠点整備事業

【事業の概要】

・産業界が、スーパーコンピュータ『京』の後継機『富岳』を利用するために必要な技術レベルを身につけるトレーニング環境を整えるため、高度計算科学研究支援センターを高度化整備する。高度化により、ものづくり革新に不可欠な高度シミュレーション技術やビッグデータ処理技術の産業界への普及を加速させ、大型放射光施設Spring-8を活用した革新的材料開発や神戸医療産業都市における創薬研究等との相乗効果も生み出しながら、地域経済の活性化を図る。（兵庫県との共同事業）

【KPI 令和2年度実績】

・神戸医療産業都市進出企業件数を、2023年度までに24件増加 1件増（5件増）
※令和元年度に目標値0件のところ17件増

11 多自然地域における新たなワークスペースプロジェクト

【事業の概要】

・多彩な地域資源を有する地域に、リモートワークやワーケーションなど新たなワークスペースを創造し、起業家育成拠点の設置運営、ネットワークの強化、連携・交流促進を行う。（兵庫県、姫路市との共同事業）

【KPI 令和2年度実績】

・支援事業を通じた起業者数 145人増（150人増）
・県内観光入込み客数 -6,268万人（400万人増）
・県内宿泊者数 -502万人（50万人増）

12 次世代産業を核とした地域振興プロジェクト

【事業の概要】

宇宙・航空機、ロボット、医療機器、次世代エネルギー等の分野において、市場参入、事業拡大に挑戦する中堅・中小企業に対して、製品開発、人材育成等による雇用拡大支援を推進するため、技術革新、新製品開発、事業創造に向けた、新たなサプライチェーン、バリューチェーンの形成促進や放射光施設とスーパーコンピュータの融合利用による技術高度化支援、県外高度人材との交流や県内技術者の技術力の高度化、大学・高校における理系教育環境の整備や地元学生に対する科学教育を推進する。

【KPI 令和2年度実績】

・県内大学の理系学生の県内就職率 1.4%増（1%増）

13 ゴールデンスポーツイヤーズを活用した神戸へのインバウンド誘客促進

【事業の概要】

・ゴールデンスポーツイヤーズという世界からの注目が高まる機会を最大限活用し、欧米豪をターゲットとした観光プロモーションの実施や体験型コンテンツの造成、ICT（キャッシュレス等）対応、案内板・解説板の多言語化、バリアフリー対応等の受入環境を整備する。これまでリーチできていなかった層の神戸への関心を高め、奥深い魅力を知っていただくことで、リピート客の獲得を図っていく。

【KPI 令和2年度実績】

- ・外国人延べ宿泊者数 9万人（77万人（4万人増））
- ・外国人延べ宿泊者数の増加に伴う観光消費額の増加額 27億円（228億円（12億円増））

14 食都神戸の推進（食文化の創造による都市ブランドの再構築）

【事業の概要】

・都市地域と農漁業地域が近接した神戸独自のポテンシャルを最大限に活用し、神戸産農水産物を使用したホテル・飲食店等の拡大、里山の水や木材を活用した商品開発など、食ビジネスを育て、食ビジネスを活かす戦略として「食都神戸」を掲げ、世界の人々が集い、食で賑わう、そんな世界に誇る食文化の都の創造をすすめることで、神戸の都市ブランドとして再構築することを目指す。また、海外からも評価される都市ブランドを構築することで、食の魅力で国内の若者をも惹きつける。神戸の持つ「都心と里山とが隣接し、食が豊かな暮らし」をアピールし、東京圏をはじめとした大都市圏から移住の促進、ひいては新たな食都神戸の担い手づくりにつなげていく。

【KPI 令和2年度実績】

- ・事業実施により増加した交流人口・関係人口数 10,073人増（5,000人増）
- ・事業実施により増加した神戸で就農や食の起業数 24戸増（10戸増）
- ・事業実施により増加した神戸の地域食材の活用事業者数 50社増（50社増）

15 Be Smart KOBE 「Human×Smart」な都市づくり

【事業の概要】

・最先端技術を保有する事業者を「Be Smart KOBE」公募プロジェクトとして募集し、神戸市内での技術実証・実装を支援することで、先進技術を活用したサービスのさらなる創出につなげ、さらにオンライン診療（健康相談）を核とした地域サービス拠点設置に向けた支援を行う。また、データ連携基盤を整備し、分野横断のデータ利活用により、社会課題解決のための民間事業者を呼び込んでいく。このような新しいことにチャレンジできるまちであることを発信し、本市の魅力を高め、人口の流入を図っていく。

【KPI 令和2年度実績】

- ・先端技術の導入エリアでの活動人数（居住・労働等）の増 20人増（20人増）
- ・最先端技術又はデータ連携基盤を活用した事業の導入件数 24件増（15件増）

令和3年度 地方創生推進交付金 新規取組事業

1 多様な働き方の推進と戦略的プロモーション

【事業の概要】

コワーキングスペース等の設置促進や副業・兼業を加えた神戸ならではのワーケーションの促進等、多様な働き方を推進し、関係人口の創出・拡大を図る。また、SNSを活用した「会話型」コミュニケーションをはかることにより、親近感を創出・醸成し、「神戸を語ってもらう」場を形成するとともに、移住、ふるさと納税、観光、副業、転職、商品購入等の検討時に神戸市が選ばれることを目指す。

【令和3年度の取り組みと令和4年度以降の取組】

○令和3年度

- ・「コワーキングスペース開設支援事業」を実施し、5事業者に対し施設整備のための費用の一部を補助決定。
- ・ワーケーション滞在時に副業・兼業をしていただく神戸ならではのワーケーションスタイルの構築に向け、市内企業とワーケーション参加者とのマッチングやPRなどの取組を進めており、最終的に約20人の参加者を目指している。
- ・公式SNSアカウントからの積極的な「会話型」コミュニケーションにより、広告等のアプローチが刺さる土台を形成するとともに、神戸関連の話題をユーザーに発信してもらうことを通じて、20-30代の若年層を中心に移住・観光・ふるさと納税などに際しての行動変容のきっかけを作っている。

○令和4年度（予定）

- ・「コワーキングスペース開設支援事業」について、新たにワーケーションプランを造成する宿泊事業者に対する支援メニューを追加することで、宿泊事業者によるコワーキングスペースの開設を促し、神戸へのワーケーションをさらに促進する。
- ・令和3年度のスキーム等の分析を行い、改善したうえで更なる参加者の誘致を図る。

○令和3年度KPI見込 ※括弧内は目標値

- ・東京圏からの転入者数 535人増（100人増）

2 こうべ女性就業・活躍促進プロジェクト

【事業の概要】

女性の就労・再就職、キャリアアップ支援と支援モデルを構築し、女性リーダーの育成、支援を実施していく。さらに、市内中小企業に対し、女性活躍や多様な働き方の促進を支援するため、セミナー等を開催するほか、女性活躍やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の認証制度を創設し、市内企業に向けて女性活躍の取組みの紹介・発信を行う。また、理系進学を目指す女子学生を対象に、市内企業や大学等と連携したラボ見学や講義を実施する。女性の就業率が政令市ワースト3位であることや若年層の女性の流出が大きい本市の課題解消に向けた要因分析の調査を行い、少子化、人口減少対策を実施していく。

【令和3年度の取組みと令和4年度以降の取組】

○令和3年度

・市内大学院ビジネススクールと連携し、企業の女性管理職を対象に、女性リーダー育成研修を実施したほか、企業の人事・総務担当者向け、再就職や非正規から正規への転換を目指す女性を対象に、再就職支援プログラムを行った。また、令和3年度に開設したコワーキングスペースにて、女性の就労・再就職、キャリアアップを支援する様々なセミナーや交流会、キャリア相談等を実施した。

○令和4年度（予定）

・働きたい女性への支援や働いている女性のキャリアアップのためのセミナーの開催、キャリア相談を実施する。また、男女ともに働きやすい職場環境づくりなどに積極的に進めている企業についての認証制度の創設を進めていく。
・働きたい女性への就労・再就職支援や働く女性のキャリアアップ支援のため、セミナーやキャリア相談等を実施する。市内企業の女性リーダーの育成・支援を継続するとともに、企業の女性活躍の取組みを促進するため、セミナー等を実施する。あわせて、女性活躍やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の認証制度創設を進め、企業の取組みを支援する。さらに、理系進学を目指す女子学生を支援するため、市内企業や大学等と連携し、ラボ見学や講義を行うほか、起業を目指す女性への支援プログラム等を実施し、本市の女性の就業率が低いことや若年層の女性の流出が大きいなど、女性の就労における本市の課題の要因分析を行い、女性の就労支援、就労環境づくりに向けた支援を行っていく。

○令和3年度KPI見込 ※括弧内は目標値

- ・事業実施により再就職又は非正規から正規雇用労働に転換した女性の数 15人増（20人増）
- ・女性リーダー育成プログラムを受講した女性の数 30人増（30人増）
- ・事業実施により女性活躍・多様な働き方への新たな取組みを行った企業の数 50社増（100社増）

1 ふるさと神戸ダブル応援基金

【事業の概要】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で困難に直面している人の仕事や暮らしを幅広く支援していくために、基金を創設。
- ・ふるさと納税の仕組みを活用して寄附を募り、集まった寄附と同額を市の一般財源から追加し、事業規模を倍額（ダブル）にすることから「ふるさと神戸ダブル応援基金」とした。
- ・令和2年5月8日から開始し、様々なコロナ支援事業に活用している。企業版ふるさと納税の活用として、近場観光の推進、学校休業時の学びの環境整備、大学生への経済的支援、アーティスト支援などに活用した。

【令和2年度実績】

- ・近場観光の推進：市内観光施設60か所が1日フリーパスとなるKOBÉ観光スマートパスポートを市民限定半額販売を実施し、2,751枚販売した。
- ・学校休業時の学びの環境整備：ICT環境が整っていない家庭における家庭学習を支援するため、レンタルPCを最大1,696台貸与した。
- ・大学生への経済的支援：市内大学生等がNPOなどで社会貢献活動や地域活性化の取り組みに参加するごとに支援金を支給。延べ1,111人の学生が参加し、66事業の地域課題解決などに取り組んだ。
- ・アーティスト支援：感染拡大防止のため、市民が自宅にいながらアート鑑賞できる動画を37本神戸で活躍するアーティストに作成いただき、制作費用として謝礼を支払い、また、with コロナ」の制約がかかる中での事業継続のための補助金（145件5,198万円）を行った。

【寄附 令和2年度実績】

- ・6,746千円

2 新型コロナ感染症対策

【事業の概要】

- ・医師会が運営する「検査センター」

【令和2年度実績】

- ・新型コロナウイルスへの感染が疑わしいと神戸市内の診療所等の医師が判断した患者に対してPCR検査を行う「検査センター」の設置。

【寄附 令和2年度実績】

- ・50,000千円

3 こども本の森 神戸

【事業の概要】

- ・令和4年春、東遊園地に「こども本の森 神戸」が開館予定。
- ・子どもたちが都心の公園の中で自由に本にふれあうことで、神戸の歴史や文化に出会い、震災の教訓から命の大切さを学び、豊かな感性と創造力を育めるような施設として、多くの子どもたちが訪れる施設を目指している。
- ・寄附については、本の購入や運営費用として活用。

【令和2年度実績】

現在建築中。

【寄附 令和2年度実績】

- ・4,800千円

4 クリエイティブ人材育成事業

【事業の概要】

- ・新しい価値・文化・社会の姿を提案する「神戸クリエイティブフォーラム」の開催を支援することで、神戸市における都市型創造産業の活性化と新たな雇用創出につなげる。

【KPI 令和2年度実績】 ()内は目標値

- ・フォーラム後の参加者の事業企画数 0事業 (10事業)

5 食と里のネットワーク構築プロジェクト

【事業の概要】

- ・農漁業地域で新たに起業・就業する人材について、既存の農漁業者や連携の見込まれる多様な業種とのネットワーク作りを支援する。

【KPI 令和2年度実績】 ()内は目標値

- ・ネットワーク参加者のうち新規就農者数 12人 (40人)
- ・ネットワーク参加者のうち農村への移住者数・起業数 11人 (20人)

参考 地域再生計画に定めている指標 ()内は目標値

- ・市内出生数 (約12,000人) の現状維持 10,100人 (12,000人)
- ・保育所等利用待機児童の解消 52人 (0人) ※令和3年4月では11人まで減少
- ・地区防災計画策定数 (2016年度以降の累計) 126地区 (86地区以上)
- ・県及び近隣市町との連携による取組み件数 (2015年度以降の累計) 7件 (7件)